

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 4 年 5 月 10 日現在

機関番号：13901

研究種目：基盤研究(S)

研究期間：2017～2021

課題番号：17H06162

研究課題名（和文）発がんの人種差と免疫応答の関わり の 解明

研究課題名（英文）Association of immune responses with racial differences of cancer development

研究代表者

西川 博嘉（Nishikawa, Hiroyoshi）

名古屋大学・医学系研究科・教授

研究者番号：10444431

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 161,700,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、ドライバー遺伝子異常による発がんの人種差が認められる原因が、遺伝子異常が免疫応答に与える影響の差に起因するという仮説に基づき、種々のがん種で見られる遺伝子異常が抗腫瘍免疫応答にもたらす影響を検討した。がん細胞が持つ遺伝子異常が化学メディエーターの分泌や代謝環境に直接的に影響を与えることで、免疫抑制性の腫瘍微小環境を構築し、発がん、がんの進展を促進していることを見出した。つまり、免疫抑制細胞である制御性T細胞の腫瘍組織への浸潤、活性化を誘導する一方で、エフェクターT細胞の腫瘍組織への浸潤阻害をもたらしていることを解明した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の成果により、がん細胞が持つ遺伝子変異が免疫応答に影響を与える、という発がんからがんの進展過程での新たな概念の提唱につながり、がん免疫ゲノム医学として新たな学術分野を創生した。また、遺伝子変異に対する分子標的治療が免疫調節作用をもつことの発見にもつながり、免疫賦活剤としての分子標的治療と免疫治療の融合によるがん免疫ゲノム治療開発に展開された。本研究成果は、現在AMED次世代がん医療加速化研究事業等にも展開され、今後さらに臨床応用が進むと考えられ、「がん撲滅」という社会的ニーズに大きく貢献した。

研究成果の概要（英文）：Based on the hypothesis that racial differences in carcinogenesis due to driver gene abnormalities are caused by differences in the effects of genetic abnormalities on immune responses, this study examined the effects of genetic abnormalities found in various cancer types on anti-tumor immune responses. We found that genetic abnormalities in cancer cells directly influenced the secretion of chemical mediators and the metabolic environment, thereby creating an immunosuppressive tumor microenvironment that promoted carcinogenesis and cancer progression. Thus, immunosuppressive cells, such as regulatory T cells, were induced, infiltrated and activated in tumor tissues, while effector T cells were inhibited in the same tumor tissues.

研究分野：総合生物、腫瘍学、腫瘍生物学

キーワード：発がん がん免疫 腫瘍微小環境

様式 C-19、F-19-1、Z-19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

がんは、ゲノム不安定性によりがん遺伝子・がん抑制遺伝子といったがんの発生・進展に直接的に関わる遺伝子(ドライバー遺伝子)を主とした遺伝子変異が蓄積することにより発生する。これらのドライバー遺伝子異常に伴う発がんの頻度は人種間で大きな差があることが広く知られていることから、がんから生体を防御している免疫系の反応の差がドライバー遺伝子異常による発がん頻度の人種差の原因となっていることが示唆される。しかしながら、遺伝子変異が免疫応答に直接的に影響を与えるかどうか、また与えればその機序については全く解明されていない。

2. 研究の目的

本研究では、ドライバー遺伝子を含めた遺伝子異常による発がんの人種差の原因が、遺伝子異常が免疫応答に与える影響の差に起因するという仮説に基づき、非小細胞肺癌、胃癌等で認められる遺伝子異常が発がん、がんの進展の過程で免疫応答にどの様に影響するかを検討する。遺伝子異常に由来する異常タンパク質に対して誘導される免疫応答の差を解析して免疫監視に関わる抗腫瘍免疫応答を解明するとともに、遺伝子異常ががん細胞内にもたらすシグナルを介した細胞機能の変化により免疫応答に与える影響を明らかにする。これにより、発がんの人種差という課題の解決に取り組むとともに、さらに発展的にがん細胞がもつ遺伝子変異が免疫応答に与える影響の全体像を詳かにし、発がん、がんの進展の過程の免疫応答、特に抗腫瘍免疫応答の本態を解明、理解することを目的とする。

3. 研究の方法

(1) 全ゲノム関連解析からの HLA 領域の解析と発がんに関連するドライバー遺伝子変異解析をもとに、発がん過程での、遺伝子異常と HLA アリルとの関連を明らかにする。つまり、発がんしやすい HLA (遺伝子異常に対して免疫応答を誘導しにくい) と発がんしにくい HLA (遺伝子異常に対して免疫応答を誘導しやすい) を明らかにする。

(2) (1) で明らかになった遺伝子異常と HLA 情報をもとに、がん細胞が持つ遺伝子変異由来の異常タンパク質で抗原提示される部位をそれぞれの患者が持つ HLA のアリル毎に *in silico* で予測する。それらの遺伝子異常に対する免疫応答、特に特異的 CD8+T 細胞の誘導を検討する。特異的 CD8+T 細胞が誘導された場合は、T 細胞の分子発現、細胞機能を検討することで、免疫応答の詳細(細胞障害等の機能を十分に発揮できるか、もしくは細胞機能が低下しているか)を明らかにする。さらに、遺伝子異常ががん細胞内にもたらすシグナルを介した細胞機能の変化により免疫応答に与える影響を明らかにする。これにより、免疫監視にかかわる抗腫瘍免疫応答の本態を解明する。

(3) ヒトがんの遺伝子異常をマウスモデルで再現し、異常タンパク質に対する免疫応答やがん細胞がもつ遺伝子異常が免疫応答に与える影響を明らかにする。つまり、個々の患者で見られた現象をマウスモデルにて普遍化し、本研究の仮説を立証する。

4. 研究成果

(1) 本研究課題による研究成果

ドライバー遺伝子変異による発がん と HLA アリルとの関連の解明

肺腺癌、特に EGFR がん遺伝子陽性肺腺癌(日本人の肺腺癌の約半数を占める)のリスクにかかわる HLA アレルを複数同定した。HLA-class I の発がん危険アレルの保有者の肺がんでは、当該危険アレルに提示される遺伝子変異に由来するネオ抗原エピトープ数が少ないことが示された。また、危険アレルは、がん組織においてヘミ欠失を生じている割合が他のアレルに比べて少なく、ネオ抗原を抗原提示する機会が少ないため、ヘミ欠失により抗原提示機構を破壊する必要がないことが示唆された。さらに、肺がん組織の全 RNA シークエンス解析の結果、Epidermal growth factor receptor (EGFR)がん遺伝子陽性肺腺癌では、組織内に浸潤する T リンパ球が少なく、腫瘍免疫が抑制されている傾向が見られた。以上の結果は、肺発がんにおいて、HLA アレルはリスク規定因子となっており、ネオ抗原の認識や免疫反応の脆弱性を引き起こしていることが示唆された。

がん細胞の遺伝子変異が免疫監視機構も与える影響の解明

① EGFR 変異肺癌

肺がん組織の全エクソームおよび RNA シークエンス解析の結果、EGFR 遺伝子変異陽性肺腺癌では、組織内に浸潤する T リンパ球が少なく、腫瘍免疫が抑制されている傾向が見られたことから、EGFR 遺伝子変異陽性肺腺癌の腫瘍組織の免疫応答を網羅的に解析した。EGFR 遺伝子変異陽性肺腺癌は、EGFR 遺伝子変異陰性例と比較して、腫瘍部の遺伝子変異の数 (tumor mutation burden: TMB) が少なく、免疫関連遺伝子の発現が低いことから、免疫原性が低い腫瘍であることが明らかとなった。また、マルチカラーフローサイトメトリー及び CyTOF 解析では、EGFR 陽性例の TME には腫瘍細胞への攻撃の要となるエフェクター細胞、とりわけ CD8+T 細胞の浸

潤が少ないにもかかわらず免疫抑制性の制御性 T 細胞(Treg)が多く浸潤していた (図 1)。

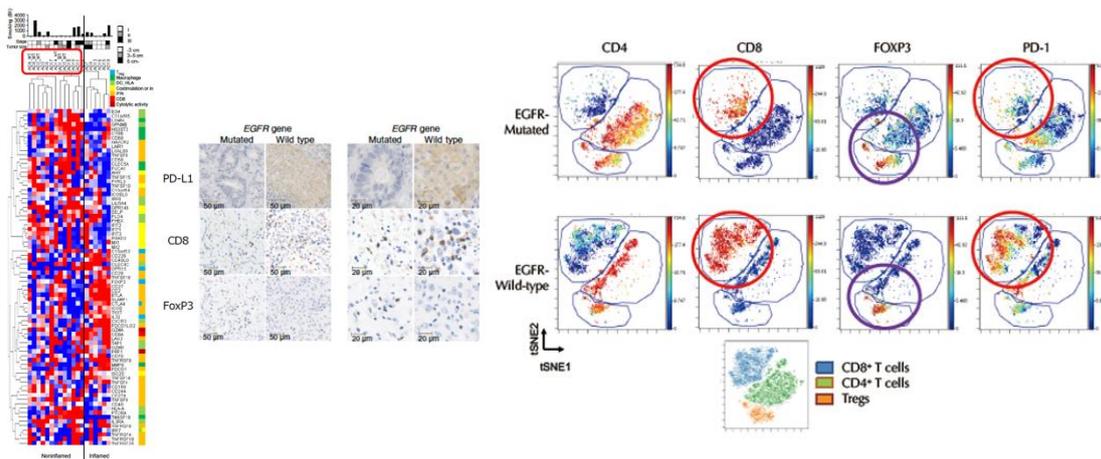


図 1. EGFR 変異及び EGFR 野生型非小細胞肺癌の TME の免疫細胞浸潤の検討

網羅的遺伝子発現解析(左)、病理組織染色(中)および CyTOF 解析(右)赤丸：CD8+T 細胞での PD-1 発現 紫丸：Treg。EGFR 変異肺癌は非炎症性 TME を持つが、Treg が多数浸潤している。

そこで、EGFR 陽性及び陰性の肺癌細胞株を用いて、陽性株では EGFR-TKI によりシグナルを遮断し、陰性株では EGF により EGFR シグナルを提供したのち EGFR-TKI によりシグナルを遮断して、網羅的に遺伝子発現の変化を解析し、EGFR シグナルが免疫応答に影響を与える可能性を検討した。EGFR 陽性肺癌では、EGFR シグナルにより免疫細胞の遊走を制御するケモカインが有意に変化するのを見出した。EGFR 陽性肺癌では EGFR 変異陰性肺癌と比較して Treg の遊走を誘導するケモカインである CCL22 の発現が高く、一方で CXCL10 や CCL5 といった CD8+ T 細胞の遊走を誘導するケモカインの発現は低いことが示された。これは、EGFR 変異により EGFR シグナルの下流で NF- κ B/c-JUN シグナルが活性化、IRF1 シグナルの阻害によってケモカイン発現が調節されることが原因であった。EGFR シグナルを EGFR-TKI により阻害すると、これらのケモカインの発現は逆転し、Treg の浸潤が低下した。ヒトの EGFR 陽性肺癌患者においても EGFR-TKI 製剤の投与によりがん組織の Treg の浸潤が低下することが示された(図 2)。

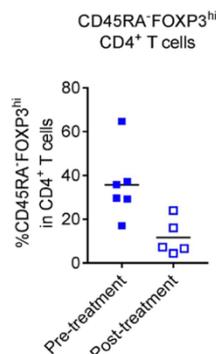
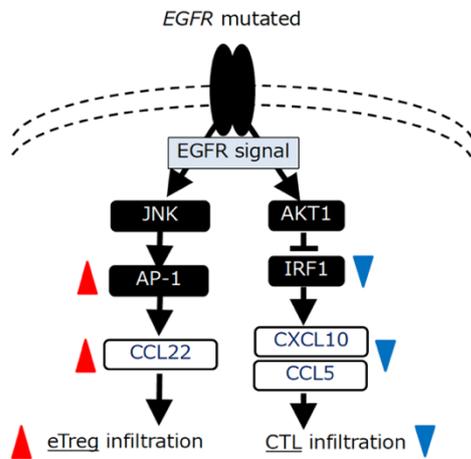


図 2. EGFR 変異肺癌で遺伝子変異が免疫応答に与える影響

まとめのシェーマ(左)と EGFR-TKI 投与による腫瘍組織の Treg の変化(右)。EGFR 変異は下流のシグナルでケモカイン発現を調節し、免疫抑制環境を構築することで免疫監視機構に抵抗性を獲得していた。

② WNT- β -カテニンシグナル増幅肺癌

肺がん組織の全エクソンおよび RNA シークエンス解析から、非小細胞肺癌の TMB 上位約 30% の患者では、多数の遺伝子変異に由来するネオ抗原が存在するにも関わらず、腫瘍局所の PD-L1 発現をはじめとする免疫関連遺伝子発現が低いことを見出した。これらの患者の遺伝子発現を詳細に解析したところ WNT- β -カテニンシグナルに関連する遺伝子群の発現が高値であることを同定した。WNT- β -カテニンシグナルは、転写抑制因子 ATF3 を介して樹状細胞の腫瘍組織への浸潤を誘導する CCL4 遺伝子の発現を低下させることで、腫瘍局所でのエフェクター細胞、とりわけ CD8+T 細胞の浸潤および活性化を阻害していた。つまり WNT- β -カテニンシグナルは腫瘍局所での抗原提示機構の破綻を誘導し、ネオ抗原特異的 CD8+T 細胞は末梢では誘導されるものの、腫瘍局所への浸潤が阻害されることが明らかになった(図 3)。

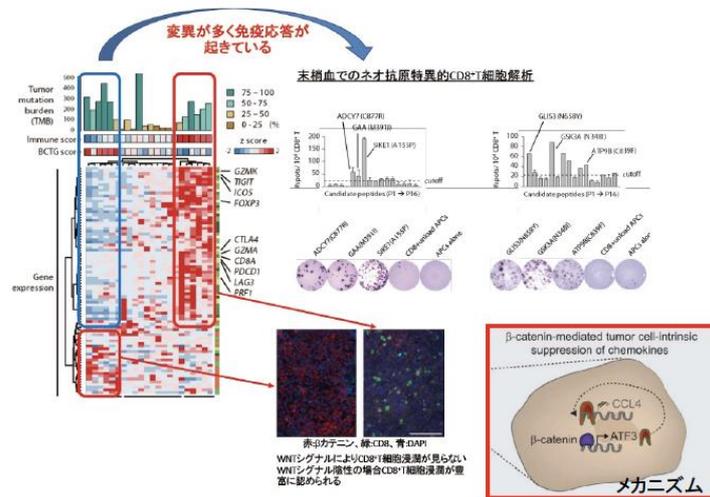


図 3. 非小細胞肺癌の免疫関連遺伝子発現と WNT-β-カテニンシグナルによる免疫抑制
非小細胞肺癌では遺伝子変異数(TMB)と腫瘍局所の免疫応答が比例しなかった。遺伝子変異数上位の 30%程度 of 患者では、末梢血でネオ抗原特異的 CD8+T 細胞が誘導されている (右上) にも関わらず、WNT-β-カテニンシグナルにより ATF3 が活性化され、CCL4 遺伝子の転写が抑制され、腫瘍局所への CD8+T 細胞浸潤が阻害された (右下)。

③ RHOA 変異胃癌

胃癌では、ドライバー変異として Ras homolog family member A (RHOA) 遺伝子変異が知られているが、RHOA 変異陽性胃癌では RHOA 変異陰性と比較して、免疫関連遺伝子の発現が低いことから、免疫原性が低い腫瘍であることが明らかとなった。一方で、免疫原性が低く免疫応答が十分に誘導されていないにも関わらず、Treg 浸潤が高いことを見出した。低免疫原性にも関わらず Treg 浸潤が高いことの機序を検討したところ、RHOA 変異に伴い PI3K-AKT シグナルが活性化され、脂肪酸代謝に関わる遺伝子群が増加していた。Treg は脂肪酸を代謝することにより腫瘍局所で活性化していることが明らかになった。一方、CD8+T 細胞を腫瘍局所に誘導するケモカインの発現が低下していた。これらの免疫抑制環境 (低 CD8+T 細胞、高 Treg) が PD-1 抗体による治療抵抗性の原因であることが示唆された。RHOA Y42C 変異腫瘍に対する PI3K 阻害剤と抗 PD-1 抗体の併用治療の有効性を検討したところ、PI3K 阻害薬と抗 PD-1 抗体を併用することで、免疫抑制的な腫瘍環境が改善され、抗腫瘍効果が増強することが示された (図 4)。

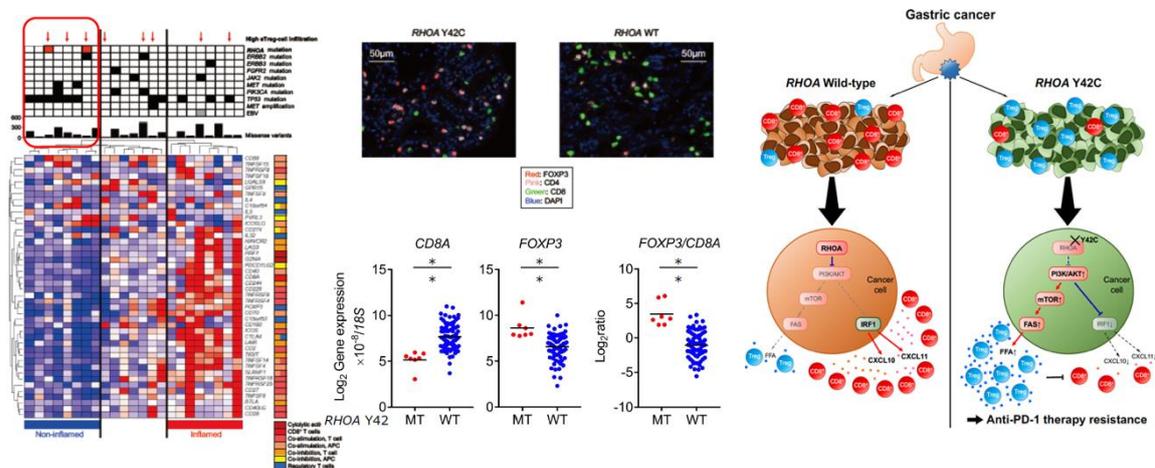


図 4. RHOA 変異胃癌患者での TME の解析

網羅的遺伝子発現解析 (左)、病理組織染色 (中) および遺伝子変異が与える影響のまとめ (右)。RHOA 変異は下流のシグナルで代謝環境およびケモカイン発現を調節し、免疫抑制環境を構築することで免疫監視機構に抵抗性を獲得していた。

(2) 当初に予見していなかった新たな展開等によって得られた研究成果

腫瘍組織の免疫応答をマルチカラーフローサイトメトリー及び CyTOF で網羅的に解析することを免疫チェックポイント阻害剤 (ICI)、特に PD-1/PD-L1 阻害剤を投与された患者の腫瘍局所検体でも実施した。本網羅的免疫解析により 114 種類の免疫細胞について PD-1 阻害剤治療効果との関連を解析することで、奏効例を予測するためのバイオマーカーを人工知能 (AI) を用いたバイオインフォマティクス技術にて検討した。The point-wise linear model (deep learning) を学習させて因子を選択させたのち、Elastic-net logistic regression models を学習させ、選択された因子の組み合わせから最も ICI の奏効と関連する組み合わせを選択させた。これらの選択された組み合わせで piece-wise linear model を使用して PD-1 阻害剤治療奏効が予測される集団を分類した。以上より腫瘍浸潤リンパ球における「CD8+T 細胞上の PD-1 発現と Treg 上の PD-1 発現の比率」が PD-1 阻害剤の治療効果予測バイオマーカーとなることを見出した (図 5)。また、CD8+T 細胞上の PD-1 発現が T 細胞レセプター (TCR) のシグナル強度に依存しているこ

とを解明した。このことから腫瘍組織の PD-1+CD8+T 細胞は、TCR に高親和性の抗原、すなわちがんの場合はネオ抗原を認識する特異的 CD8+T 細胞であると考えられた。すなわちネオ抗原から強い TCR シグナルを受けた CD8+T 細胞ががん局所に多数存在し、それらの活性化が免疫チェックポイント分子により抑制されていたものを、ICI により回復させたことが抗腫瘍活性につながっていた。一方で、免疫抑制細胞である Treg 上の PD-1 発現が CD8+T 細胞上の PD-1 と同様に機能疲労と関連し、PD-1 阻害剤により Treg の活性化（抑制機能の増強）が誘導されることも明らかにした。これにより、PD-1 を強発現する Treg ががん局所に存在する場合、PD-1 阻害剤により Treg も活性化してしまう可能性があることから、Treg による免疫抑制が強く働き、CD8+T 細胞の活性化が抑制されて抗腫瘍活性が認められないことが示された。本バイオマーカーの臨床的有用性を確認するための臨床試験が国立がん研究センターで開始された。

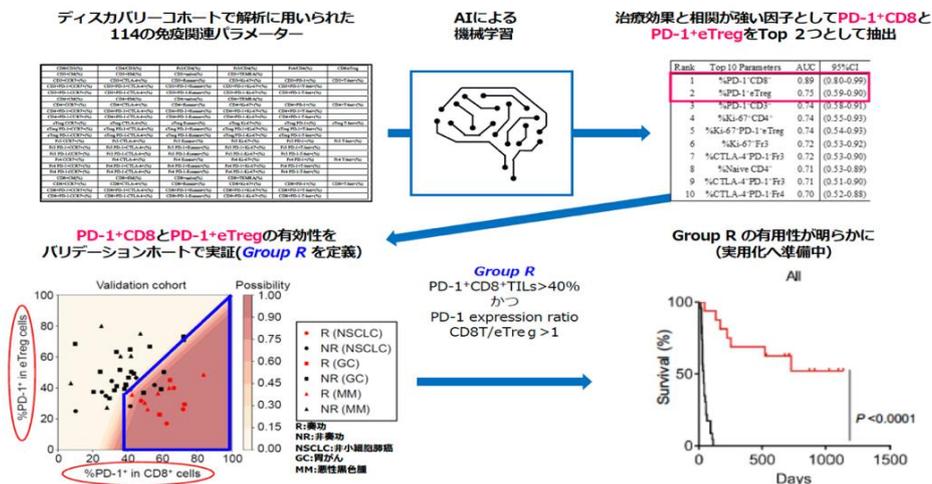


図5. 腫瘍組織の CD8+T 細胞及び Treg 上の PD-1 発現レベルと PD-1 阻害剤の治療効果の関連。腫瘍組織に浸潤する 114 種類の免疫細胞を解析し、ICI の治療効果と相関する細胞を同定した。AI による深層学習により、患者層別化バイオマーカーを同定した。

さらに PD-1+Treg の頻度が高い腫瘍の RNA シークエンス解析の結果、糖代謝の亢進が PD-1+Treg と相関していることが示された。事実、糖代謝が亢進している肝転移では、有意に高 PD-1 発現制御性 T 細胞の頻度が増加していた。糖代謝が亢進している腫瘍で PD-1+Treg の頻度が高い機序として、Treg は FoxP3 により転写された乳酸トランスポーターである MCT/CD147 の発現が高く、糖代謝により造成される乳酸を CD8+T 細胞等のエフェクター T 細胞と比較し有意に高く取り込んでいることが示された。Treg に取り込まれた乳酸は phosphoenol pyruvate (PEP) に代謝され、Sarcoplasmic/Endoplasmic Reticulum Calcium ATPase (SERCA) の機能を抑制することで細胞質の Ca²⁺濃度を上昇させ、NFAT を核内移行させて PD-1 発現を誘導することを見出した。これにより、MYC 増幅腫瘍や肝腫瘍などの糖代謝が亢進している腫瘍では、PD-1+Treg が多数存在することで、PD-1 阻害剤の治療抵抗性に関わっていることが明らかになった (図 6)。これは代謝機構が免疫応答、とりわけ Treg の活性化に影響を与えている、という免疫学と代謝学の融合による新たな発見と考えられる。

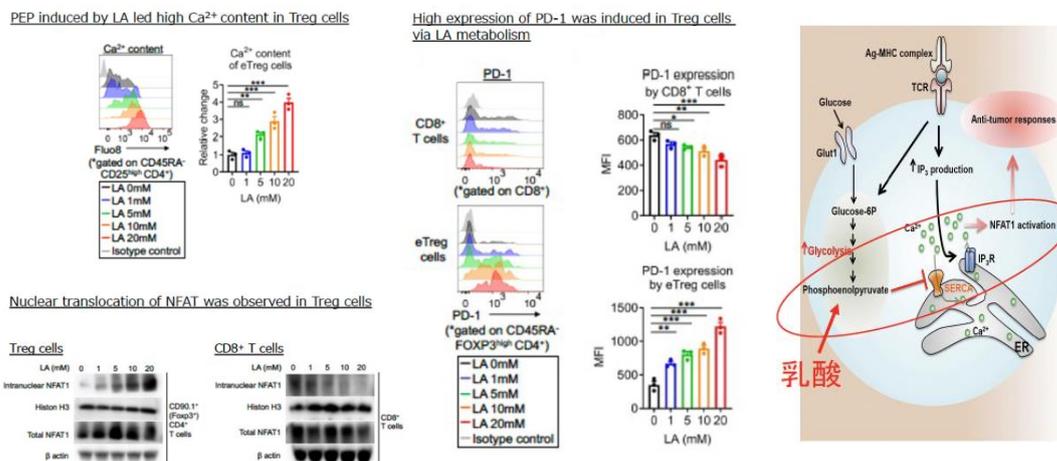


図6. 制御性 T 細胞での乳酸代謝による PD-1 発現機構

(左上)乳酸濃度と Treg 内 Ca²⁺濃度、(左下)それに伴う NFAT の核内移行。(中) Treg での乳酸濃度の差による PD-1 発現誘導。(右) Treg での乳酸代謝による新規 PD-1 発現機構のシエマ。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計91件（うち査読付論文 91件／うち国際共著 4件／うちオープンアクセス 31件）

1. 著者名 Kobayashi T, Iwama S, Sugiyama D, Yasuda Y, Okuji T, Ito M, Ito S, Sugiyama M, Onoue T, Takagi H, Hagiwara D, Ito Y, Suga H, Banno R, Nishikawa H, Arima H	4. 巻 9
2. 論文標題 Anti-pituitary antibodies and susceptible human leukocyte antigen alleles as predictive biomarkers for pituitary dysfunction induced by immune checkpoint inhibitors	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal for ImmunoTherapy of Cancer	6. 最初と最後の頁 e002493 ~ e002493
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jitc-2021-002493	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Inamori K, Togashi Y, Fukuoka S, Akagi K, Ogasawara K, Irie T, Motooka D, Kobayashi Y, Sugiyama D, Kojima M, Shiya N, Nakamura S, Maruyama S, Suzuki Y, Ito M, Nishikawa H	4. 巻 6
2. 論文標題 Importance of lymph node immune responses in MSI-H/dMMR colorectal cancer	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JCI Insight	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/jci.insight.137365	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Yasuda Y, Iwama S, Sugiyama D, Okuji T, Kobayashi T, Ito M, Okada N, Enomoto A, Ito S, Yan Y, Sugiyama M, Onoue T, Tsunekawa T, Ito Y, Takagi H, Hagiwara D, Goto M, Suga H, Banno R, Takahashi M, Nishikawa H, Arima H	4. 巻 13
2. 論文標題 CD4 + T cells are essential for the development of destructive thyroiditis induced by anti?PD-1 antibody in thyroglobulin-immunized mice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Science Translational Medicine	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/scitranslmed.abb7495	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Kelkka T, Savola P, Bhattacharya D, Huuhtanen J, Lonnberg T, Kankainen M, Paalanen K, Tyster M, Lepisto M, Ellonen P, Smolander J, Eldfors S, Yadav B, Khan S, Koivuniemi R, Sjowall C, Elo LL, Lahdesmaki H, Maeda Y, Nishikawa H, Leirisalo-Repo M, Sokka-Isler T, Mustjoki S	4. 巻 12
2. 論文標題 Adult-Onset Anti-Citrullinated Peptide Antibody-Negative Destructive Rheumatoid Arthritis Is Characterized by a Disease-Specific CD8+ T Lymphocyte Signature	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Immunology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2021.710831	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishikawa H, Koyama S	4. 巻 9
2. 論文標題 Mechanisms of regulatory T cell infiltration in tumors: implications for innovative immune precision therapies	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal for ImmunoTherapy of Cancer	6. 最初と最後の頁 e002591 ~ e002591
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jitc-2021-002591	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato K, Kobayashi Y, Fujimaki K, Hayashi S, Ishida S, Sugiyama D, Sato T, Lim K, Miyamoto M, Kozuma S, Kadokura M, Wakita K, Hata M, Hirahara K, Amano M, Watanabe I, Okamoto A, Tuettenberg A, Jonuleit H, Tanemura A, Maruyama S, Agatsuma T, Wada T, Nishikawa H	4. 巻 33
2. 論文標題 Novel anti-GARP antibody DS-1055a augments anti-tumor immunity by depleting highly suppressive GARP+ regulatory T cells	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Immunology	6. 最初と最後の頁 435 ~ 446
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxab027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Isoyama S, Mori S, Sugiyama D, Kojima Y, Tada Y, Shitara K, Hinohara K, Dan S, Nishikawa H	4. 巻 9
2. 論文標題 Cancer immunotherapy with PI3K and PD-1 dual-blockade via optimal modulation of T cell activation signal	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal for ImmunoTherapy of Cancer	6. 最初と最後の頁 e002279 ~ e002279
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jitc-2020-002279	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe K, Nishikawa H	4. 巻 33
2. 論文標題 Engineering strategies for broad application of TCR-T- and CAR-T-cell therapies	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Immunology	6. 最初と最後の頁 551 ~ 562
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxab052	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kitahara M, Shigeno Y, Shime M, Matsumoto Y, Nakamura S, Motooka D, Fukuoka S, Nishikawa H, Benno Y	4. 巻 71
2. 論文標題 Vescimonas gen. nov., Vescimonas coprocola sp. nov., Vescimonas fastidiosa sp. nov., Pusillimonas gen. nov. and Pusillimonas faecalis sp. nov. isolated from human faeces	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/ijsem.0.005066	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawashima S, Inozume T, Kawazu M, Ueno T, Nagasaki J, Tanji E, Honobe A, Ohnuma T, Kawamura T, Umeda Y, Nakamura Y, Kawasaki T, Kiniwa Y, Yamasaki O, Fukushima S, Ikehara Y, Mano H, Suzuki Y, Nishikawa H, Matsue H, Togashi Y	4. 巻 9
2. 論文標題 TIGIT/CD155 axis mediates resistance to immunotherapy in patients with melanoma with the inflamed tumor microenvironment	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal for ImmunoTherapy of Cancer	6. 最初と最後の頁 e003134 ~ e003134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jitc-2021-003134	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi Y, Tanegashima T, Sato E, Irie T, Sai A, Itahashi K, Kumagai S, Tada Y, Togashi Y, Koyama S, Akbay EA, Karasaki T, Kataoka K, Funaki S, Shintani Y, Nagatomo I, Kida H, Ishii G, Miyoshi T, Aokage K, Kakimi K, Ogawa S, Okumura M, Eto M, Kumanogoh A, Tsuboi M, Nishikawa H	4. 巻 6
2. 論文標題 Highly immunogenic cancer cells require activation of the WNT pathway for immunological escape	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Science Immunology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciimmunol.abc6424	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujioka Y, Sugiyama D, Matsumura I, Minami Y, Miura M, Atsuta Y, Ohtake S, Kiyoi H, Miyazaki Y, Nishikawa H, Takahashi N	4. 巻 13
2. 論文標題 Regulatory T Cell as a Biomarker of Treatment-Free Remission in Patients with Chronic Myeloid Leukemia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancers	6. 最初と最後の頁 5904 ~ 5904
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers13235904	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Maeda Y, Wada H, Sugiyama D, Saito T, Irie T, Itahashi K, Minoura K, Suzuki S, Kojima T, Kakimi K, Nakajima J, Funakoshi T, Iida S, Oka M, Shimamura T, Doi T, Doki Y, Nakayama E, Ueda R, Nishikawa H	4. 巻 12
2. 論文標題 Depletion of central memory CD8+ T cells might impede the antitumor therapeutic effect of Mogamulizumab	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-021-27574-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawazoe A, Itahashi K, Yamamoto N, Kotani D, Kuboki Y, Taniguchi H, Harano K, Naito Y, Suzuki M, Fukutani M, Higuchi T, Ikeno T, Wakabayashi M, Sato A, Koyama S, Nishikawa H, Shitara K	4. 巻 27
2. 論文標題 TAS-116 (Pimitepib), an Oral HSP90 Inhibitor, in Combination with Nivolumab in Patients with Colorectal Cancer and Other Solid Tumors: An Open-Label, Dose-Finding, and Expansion Phase Ib Trial (EPOC1704)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clinical Cancer Research	6. 最初と最後の頁 6709 ~ 6715
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1078-0432.CCR-21-1929	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Aokage K, Tsuboi M, Zenke Y, Horinouchi H, Nakamura N, Ishikura S, Nishikawa H, Kumagai S, Koyama S, Kanato K, Kataoka T, Wakabayashi M, Fukutani M, Fukuda H, Ohe Y, Watanabe SI; Lung Cancer Surgical Study Group of the Japan Clinical Oncology Group	4. 巻 -
2. 論文標題 Study protocol for JCOG1807C (DEEP OCEAN): a interventional prospective trial to evaluate the efficacy and safety of durvalumab before and after operation or durvalumab as maintenance therapy after chemoradiotherapy against superior sulcus non-small cell lung cancer	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyab208	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nagasaki J, Inozume T, Sax N, Ariyasu R, Ishikawa M, Yamashita K, Kawazu M, Ueno T, Irie T, Tanji E, Morinaga T, Honobe A, Ohnuma T, Yoshino M, Iwata T, Kawase K, Sasaki K, Hanazawa T, Kochin V, Kawamura T, Matsue H, Hino M, Mano H, Suzuki Y, Nishikawa H, Togashi Y	4. 巻 38
2. 論文標題 PD-1 blockade therapy promotes infiltration of tumor-attacking exhausted T?cell clonotypes	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 110331 ~ 110331
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2022.110331	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kumagai S, Koyama S, Itahashi K, Tanegashima T, Lin YT, Togashi Y, Kamada T, Irie T, Okumura G, Kono H, Ito D, Fujii R, Watanabe S, Sai A, Aokage K, Suzuki J, Ishii G, Kuwata T, Sakamoto N, Kawazu M, Ueno T, Mori T, Yamazaki N, Tsuboi M, Yatabe Y, Kinoshita T, Doi T, Shitara K, Mano H, Nishikawa H	4. 巻 40
2. 論文標題 Lactic acid promotes PD-1 expression in regulatory T cells in highly glycolytic tumor microenvironments	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cancer Cell	6. 最初と最後の頁 201 ~ 218.e9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ccell.2022.01.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawazu M, Ueno T, Saeki K, Sax N, Togashi Y, Kanaseki T, Chida K, Kishigami F, Sato K, Kojima S, Tanegashima T, Matsubara D, Tane K, Tanaka Y, Iinuma H, Hashiguchi Y, Hazama S, Khor SS, Tokunaga K, Tsuboi M, Niki T, Eto M, Shitara K, Torigoe T, Ishihara S, Aburatani H, Haeno H, Nishikawa H, Mano H	4. 巻 162
2. 論文標題 HLA Class I Analysis Provides Insight Into the Genetic and Epigenetic Background of Immune Evasion in Colorectal Cancer With High Microsatellite Instability	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Gastroenterology	6. 最初と最後の頁 799 ~ 812
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1053/j.gastro.2021.10.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hasegawa H, Shitara K, Takiguchi S, Takiguchi N, Ito S, Kochi M, Horinouchi H, Kinoshita T, Yoshikawa T, Muro K, Nishikawa H, Suna H, Kodera Y	4. 巻 -
2. 論文標題 A multicenter, open-label, single-arm phase I trial of neoadjuvant nivolumab monotherapy for resectable gastric cancer	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Gastric Cancer	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10120-022-01286-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Bando H, Tsukada Y, Inamori K, Togashi Y, Koyama S, Kotani D, Fukuoka S, Yuki S, Komatsu Y, Homma S, Taketomi A, Uemura M, Kato T, Fukui M, Wakabayashi M, Nakamura N, Kojima M, Kawachi H, Kirsch R, Yoshida T, Suzuki Y, Sato A, Nishikawa H, Ito M, Yoshino T	4. 巻 28
2. 論文標題 Preoperative Chemoradiotherapy plus Nivolumab before Surgery in Patients with Microsatellite Stable and Microsatellite Instability?High Locally Advanced Rectal Cancer	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Clinical Cancer Research	6. 最初と最後の頁 1136 ~ 1146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1078-0432.CCR-21-3213	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Miyai Y, Sugiyama D, Hase T, Asai N, Taki T, Nishida K, Fukui T, Chen-Yoshikawa TF, Kobayashi H, Mii S, Shiraki Y, Hasegawa Y, Nishikawa H, Ando Y, Takahashi M, Enomoto A	4. 巻 5
2. 論文標題 Meflin-positive cancer-associated fibroblasts enhance tumor response to immune checkpoint blockade	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Life Science Alliance	6. 最初と最後の頁 e202101230
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/lsa.202101230	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inamori Koji, Togashi Yosuke, Fukuoka Shota, Akagi Kiwamu, Ogasawara Kouetsu, Irie Takuma, Motoooka Daisuke, Kobayashi Yoichi, Sugiyama Daisuke, Kojima Motohiro, Shiiya Norihiko, Nakamura Shota, Maruyama Shoichi, Suzuki Yutaka, Ito Masaaki, Nishikawa Hiroyoshi	4. 巻 6
2. 論文標題 Importance of lymph node immune responses in MSI-H/dMMR colorectal cancer	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JCI Insight	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/jci.insight.137365	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Seo Wooseok, Jerin Chandsultana, Nishikawa Hiroyoshi	4. 巻 53
2. 論文標題 Transcriptional regulatory network for the establishment of CD8+ T cell exhaustion	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Experimental & Molecular Medicine	6. 最初と最後の頁 202 ~ 209
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s12276-021-00568-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nozaki Kenji, Fujioka Yuki, Sugiyama Daisuke, Ishikawa Jun, Iida Masato, Shibata Masaru, Kosugi Satoru, Nishikawa Hiroyoshi, Shibayama Hirohiko	4. 巻 113
2. 論文標題 Flow cytometry analysis of peripheral Tregs in patients with multiple myeloma under lenalidomide maintenance	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Hematology	6. 最初と最後の頁 772 ~ 774
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-021-03093-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe Sho, Goto Yasushi, Yasuda Hiroyuki, Kohno Takashi, Motoi Noriko, Ohe Yuichiro, Nishikawa Hiroyoshi, Kobayashi Susumu S., Kuwano Kazuyoshi, Togashi Yosuke	4. 巻 12
2. 論文標題 HSP90 inhibition overcomes EGFR amplification induced resistance to third generation EGFR TKIs	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Thoracic Cancer	6. 最初と最後の頁 631 ~ 642
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1759-7714.13839	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kumagai Shogo, Koyama Shohei, Nishikawa Hiroyoshi	4. 巻 21
2. 論文標題 Antitumour immunity regulated by aberrant ERBB family signalling	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Reviews Cancer	6. 最初と最後の頁 181 ~ 197
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41568-020-00322-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kashima Y, Togashi Y, Fukuoka S, Kamada T, Irie T, Suzuki A, Nakamura Y, Shitara K, Minamide T, Yoshida T, Taoka N, Kawase T, Wada T, Inaki K, Chihara M, Ebisuno Y, Tsukamoto S, Fujii R, Ohashi A, Suzuki Y, Tsuchihara K, Nishikawa H, Doi T	4. 巻 11
2. 論文標題 Potentiality of multiple modalities for single-cell analyses to evaluate the tumor microenvironment in clinical specimens	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-79385-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Arakawa A, Ichikawa H, Kubo T, Motoi N, Kumamoto T, Nakajima M, Yonemori K, Noguchi E, Sunami K, Shiraishi K, Kakishima H, Yoshida H, Yamada K, Yanaihara N, Takahashi K, Okamoto A, Hirabayashi S, Hasegawa D, Manabe A, Ono K, Matsuoka M, Arai Y, Togashi Y, Shibata T, Nishikawa H, Aoki K, Yamamoto N, Kohno T, Ogawa C	4. 巻 384
2. 論文標題 Vaginal Transmission of Cancer from Mothers with Cervical Cancer to Infants	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 New England Journal of Medicine	6. 最初と最後の頁 42 ~ 50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1056/NEJMoa2030391	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chen S, Kiguchi T, Nagata Y, Tamai Y, Ikeda T, Kajiya R, Ono T, Sugiyama D, Nishikawa H, Akatsuka Y	4. 巻 113
2. 論文標題 A simple method to distinguish residual elotuzumab from monoclonal paraprotein in immunofixation assays for multiple myeloma patients	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Hematology	6. 最初と最後の頁 473 ~ 479
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-021-03088-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Minoura K, Abe K, Maeda Y, Nishikawa H, Shimamura T	4. 巻 37
2. 論文標題 CYBERTRACK2.0: zero-inflated model-based cell clustering and population tracking method for longitudinal mass cytometry data	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Bioinformatics	6. 最初と最後の頁 1632 ~ 1634
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/bioinformatics/btaa873	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Abe K, Minoura K, Maeda Y, Nishikawa H, Shimamura T	4. 巻 21
2. 論文標題 Model-based clustering for flow and mass cytometry data with clinical information	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Bioinformatics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12859-020-03671-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagasaki J, Togashi Y, Sugawara T, Itami M, Yamauchi N, Yuda J, Sugano M, Ohara Y, Minami Y, Nakamae H, Hino M, Takeuchi M, Nishikawa H	4. 巻 4
2. 論文標題 The critical role of CD4+ T cells in PD-1 blockade against MHC-II?expressing tumors such as classic Hodgkin lymphoma	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Blood Advances	6. 最初と最後の頁 4069 ~ 4082
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2020002098	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kumagai S, Togashi Y, Kamada T, Sugiyama E, Nishinakamura H, Takeuchi Y, Vitaly K, Itahashi K, Maeda Y, Matsui S, Shibahara T, Tsuge A, Fukuoka S, Kawazoe A, Udagawa H, Kirita K, Aokage K, Ishii G, Kuwata T, Nakama K, Kawazu M, Ueno T, Yamazaki N, Goto K, Tsuboi M, Mano H, Doi T, Shitara K, Nishikawa H	4. 巻 21
2. 論文標題 The PD-1 expression balance between effector and regulatory T cells predicts the clinical efficacy of PD-1 blockade therapies	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature Immunology	6. 最初と最後の頁 1346 ~ 1358
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41590-020-0769-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kumagai S, Togashi Y, Sakai C, Kawazoe A, Kawazu M, Ueno T, Sato E, Kuwata T, Kinoshita T, Yamamoto M, Nomura S, Tsukamoto T, Mano H, Shitara K, Nishikawa H	4. 巻 53
2. 論文標題 An Oncogenic Alteration Creates a Microenvironment that Promotes Tumor Progression by Conferring a Metabolic Advantage to Regulatory T Cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Immunity	6. 最初と最後の頁 187 ~ 203.e8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.immuni.2020.06.016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Muramatsu T, Noguchi T, Sugiyama D, Kanada Y, Fujimaki K, Ito S, Gotoh M, Nishikawa H	4. 巻 33
2. 論文標題 Newly emerged immunogenic neoantigens in established tumors enable hosts to regain immunosurveillance in a T-cell-dependent manner	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Immunology	6. 最初と最後の頁 39 ~ 48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxaa049	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukuoka S, Hara H, Takahashi N, Kojima T, Kawazoe A, Asayama M, Yoshii T, Kotani D, Tamura H, Mikamoto Y, Hirano N, Wakabayashi M, Nomura S, Sato A, Kuwata T, Togashi Y, Nishikawa H, Shitara K	4. 巻 38
2. 論文標題 Regorafenib Plus Nivolumab in Patients With Advanced Gastric or Colorectal Cancer: An Open-Label, Dose-Escalation, and Dose-Expansion Phase Ib Trial (REGONIVO, EPOC1603)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 2053 ~ 2061
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1200/JCO.19.03296	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawazoe A, Kuboki Y, Shinozaki E, Hara H, Nishina T, Komatsu Y, Yuki S, Wakabayashi M, Nomura S, Sato A, Kuwata T, Kawazu M, Mano H, Togashi Y, Nishikawa H, Yoshino T	4. 巻 26
2. 論文標題 Multicenter Phase I/II Trial of Napabucasin and Pembrolizumab in Patients with Metastatic Colorectal Cancer (EPOC1503/SCOOP Trial)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Cancer Research	6. 最初と最後の頁 5887 ~ 5894
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1078-0432.CCR-20-1803	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murate K, Maeda K, Nakamura M, Sugiyama D, Wada H, Yamamura T, Sawada T, Mizutani Y, Ishikawa T, Furukawa K, Ohno E, Honda T, Kawashima H, Miyahara R, Ishigami M, Nishikawa H, Fujishiro M	4. 巻 26
2. 論文標題 Endoscopic Activity and Serum TNF- Level at Baseline Are Associated With Clinical Response to Ustekinumab in Crohn's Disease Patients	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Inflammatory Bowel Diseases	6. 最初と最後の頁 1669 ~ 1681
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ibd/izaa086	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Bando H, Kotani D, Tsushima T, Hara H, Kadowaki S, Kato K, Chin K, Yamaguchi K, Kageyama SI, Hojo H, Nakamura M, Tachibana H, Wakabayashi M, Fukutani M, Togashi Y, Fuse N, Nishikawa H, Kojima T	4. 巻 20
2. 論文標題 TENERGY: multicenter phase II study of Atezolizumab monotherapy following definitive Chemoradiotherapy with 5-FU plus Cisplatin in patients with unresectable locally advanced esophageal squamous cell carcinoma	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Cancer	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12885-020-06716-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugiyama E, Togashi Y, Takeuchi Y, Shinya S, Tada Y, Kataoka K, Tane K, Sato E, Ishii G, Goto K, Shintani Y, Okumura M, Tsuboi M, Nishikawa H	4. 巻 5
2. 論文標題 Blockade of EGFR improves responsiveness to PD-1 blockade in EGFR-mutated non-small cell lung cancer	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Science Immunology	6. 最初と最後の頁 3937
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciimmunol.aav3937	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka A, Nishikawa H, Noguchi S, Sugiyama D, Morikawa H, Takeuchi Y, Ha D, Shigeta N, Kitawaki T, Maeda Y, Saito T, Shinohara Y, Kameoka Y, Iwaisako K, Monma F, Ohishi K, Karbach J, Jager E, Sawada K, Katayama N, Takahashi N, Sakaguchi S	4. 巻 217
2. 論文標題 Tyrosine kinase inhibitor imatinib augments tumor immunity by depleting effector regulatory T cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Exp Med	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1084/jem.20191009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tokunaga A, Sugiyama D, Maeda Y, Warner AB, Panageas KS, Ito S, Togashi Y, Sakai C, Wolchok JD, Nishikawa H	4. 巻 216
2. 論文標題 Selective inhibition of low-affinity memory CD8+ T cells by corticosteroids	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Exp Med	6. 最初と最後の頁 2701-2713
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1084/jem.20190738	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Umemoto K, Togashi Y, Arai Y, Nakamura H, Takahashi S, Tanegashima T, Kato M, Nishikawa T, Sugiyama D, Kojima M, Gotohda N, Kuwata T, Ikeda M, Shibata T, Nishikawa H	4. 巻 32
2. 論文標題 The potential application of PD-1 blockade therapy for early-stage biliary tract cancer	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int Immunol	6. 最初と最後の頁 273-281
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxz080	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kamada T, Togashi Y, Tay C, Ha D, Sasaki A, Nakamura Y, Sato E, Fukuoka S, Tada Y, Tanaka A, Morikawa H, Kawazoe A, Kinoshita T, Shitara K, Sakaguchi S, Nishikawa H	4. 巻 116
2. 論文標題 PD-1+ regulatory T cells amplified by PD-1 blockade promote hyperprogression of cancer	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci USA	6. 最初と最後の頁 9999-10008
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1822001116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tanegashima T, Togashi Y, Azuma K, Kawahara A, Ideguchi K, Sugiyama D, Kinoshita F, Akiba J, Kashiwagi E, Takeuchi A, Irie T, Tatsugami K, Hoshino T, Eto M, Nishikawa H	4. 巻 25
2. 論文標題 Immune suppression by PD-L2 against spontaneous and treatment-related antitumor immunity	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clin Cancer Res	6. 最初と最後の頁 4808-4819
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1078-0432.CCR-18-3991	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Togashi Y, Shitara K, Nishikawa H	4. 巻 16
2. 論文標題 Regulatory T cells in cancer immunosuppression - Implications for anticancer therapy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nat Rev Clin Oncol	6. 最初と最後の頁 356-371
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41571-019-0175-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ohue Y, Nishikawa H	4. 巻 110
2. 論文標題 Regulatory T (Treg) cells in cancer: can Treg cells be a new therapeutic target?	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer Sci	6. 最初と最後の頁 2080-2089
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14069	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kochin V, Nishikawa H	4. 巻 81
2. 論文標題 Meddling with meddlers: curbing regulatory T cells and augmenting antitumor immunity	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nagoya J Med Sci	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18999/nagjms.81	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Doi T, Muro K, Ishii H, Kato T, Tsushima T, Takenoyama M, Oizumi S, Gemmoto K, Suna H, Enokitani K, Kawakami T, Nishikawa H, Yamamoto N	4. 巻 25
2. 論文標題 A Phase I Study of the Anti-CC Chemokine Receptor 4 Antibody, Mogamulizumab, in Combination with Nivolumab in Patients with Advanced or Metastatic Solid Tumors	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clin Cancer Res	6. 最初と最後の頁 6614-6622
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1078-0432.CCR-19-1090	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ha D, Tanaka A, Kibayashi T, Tanemura A, Sugiyama D, Wing JB, Lim EL, Teng KWW, Adeegbe D, Newell EW, Katayama I, Nishikawa H, Sakaguchi S	4. 巻 116
2. 論文標題 Differential control of human Treg and effector T cells in tumor immunity by Fc-engineered anti-CTLA-4 antibody	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci USA	6. 最初と最後の頁 609-618
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1812186116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Minoura K, Abe K, Maeda Y, Nishikawa H, Shimamura T	4. 巻 20
2. 論文標題 Model-based cell clustering and population tracking for time-series flow cytometry data	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMC Bioinformatics	6. 最初と最後の頁 633
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12859-019-3294-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inozume T, Yaguchi T, Ariyasu R, Togashi Y, Ohnuma T, Honobe A, Nishikawa H, Kawakami Y, Kawamura T	4. 巻 139
2. 論文標題 Analysis of the Tumor Reactivity of Tumor-Infiltrating Lymphocytes in a Metastatic Melanoma Lesion that Lost Major Histocompatibility Complex Class I Expression after Anti-PD-1 Therapy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Invest Dermatol	6. 最初と最後の頁 1490-1496
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jid.2019.01.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawazoe A, Shitara K, Kuboki Y, Bando H, Kojima T, Yoshino T, Ohtsu A, Ochiai A, Togashi Y, Nishikawa H, Doi T, Kuwata T	4. 巻 22
2. 論文標題 Clinicopathological features of 22C3 PD-L1 expression with mismatch repair, Epstein-Barr virus status, and cancer genome alterations in metastatic gastric cancer	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Gastric Cancer	6. 最初と最後の頁 69-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10120-018-0843-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Doi T, Aramaki T, Yasui H, Muro K, Ikeda M, Okusaka T, Inaba Y, Nakai K, Ikezawa H, Nakajima R	4. 巻 37
2. 論文標題 A phase I study of ontuxizumab, a humanized monoclonal antibody targeting endosialin, in Japanese patients with solid tumors	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Invest New Drugs	6. 最初と最後の頁 1061-1074
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10637-018-0713-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mehnert JM, Varga A, Brose MS, Aggarwal RR, Lin CC, Prawira A, de Braud F, Tamura K, Doi T, Piha-Paul SA, Gilbert J, Saraf S, Thanigaimani P, Cheng JD, Keam B	4. 巻 19
2. 論文標題 Safety and antitumor activity of the anti-PD-1 antibody pembrolizumab in patients with advanced, PD-L1-positive papillary or follicular thyroid cancer	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMC Cancer	6. 最初と最後の頁 196
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12885-019-5380-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimomura A, Yamamoto N, Kondo S, Fujiwara Y, Suzuki S, Yanagitani N, Horiike A, Kitazono S, Ohyanagi F, Doi T, Kuboki Y, Kawazoe A, Shitara K, Ohno I, Banerji U, Sundar R, Ohkubo S, Calleja EM, Nishio M	4. 巻 18
2. 論文標題 First-in-Human Phase I Study of an Oral HSP90 Inhibitor, TAS-116, in Patients with Advanced Solid Tumors	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mol Cancer Ther	6. 最初と最後の頁 531-540
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1535-7163.MCT-18-0831	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tamura K, Tsurutani J, Takahashi S, Iwata H, Krop IE, Redfern C, Sagara Y, Doi T, Park H, Murthy RK, Redman RA, Jikoh T, Lee C, Sugihara M, Shahidi J, Yver A, Modi S	4. 巻 20
2. 論文標題 Trastuzumab deruxtecan (DS-8201a) in patients with advanced HER2-positive breast cancer previously treated with trastuzumab emtansine: a dose-expansion, phase 1 study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Lancet Oncol	6. 最初と最後の頁 816-826
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/S1470-2045(19)30097-X	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Doi T, Yoh K, Shitara K, Takahashi H, Ueno M, Kobayashi S, Morimoto M, Okusaka T, Ueno H, Morizane C, Okano N, Nagashima F, Furuse J	4. 巻 37
2. 論文標題 First-in-human phase 1 study of novel dUTPase inhibitor TAS-114 in combination with S-1 in Japanese patients with advanced solid tumors	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Invest New Drugs	6. 最初と最後の頁 507-518
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10637-018-0697-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Bang YJ, Kang YK, Catenacci DV, Muro K, Fuchs CS, Geva R, Hara H, Golan T, Garrido M, Jalal SI, Borg C, Doi T, Yoon HH, Savage MJ, Wang J, Dalal RP, Shah S, Wainberg ZA, Chung HC	4. 巻 22
2. 論文標題 Pembrolizumab alone or in combination with chemotherapy as first-line therapy for patients with advanced gastric or gastroesophageal junction adenocarcinoma: results from the phase II nonrandomized KEYNOTE-059 study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Gastric Cancer	6. 最初と最後の頁 828-837
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10120-018-00909-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki A, Nakamura Y, Mishima S, Kawazoe A, Kuboki Y, Bando H, Kojima T, Doi T, Ohtsu A, Yoshino T, Kuwata T, Akimoto T, Shitara K	4. 巻 22
2. 論文標題 Predictive factors for hyperprogressive disease during nivolumab as anti-PD1 treatment in patients with advanced gastric cancer	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Gastric Cancer	6. 最初と最後の頁 793-802
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10120-018-00922-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Doi T, Iwasa S, Muro K, Satoh T, Hironaka S, Esaki T, Nishina T, Hara H, Machida N, Komatsu Y, Shimada Y, Otsu S, Shimizu S, Watanabe M	4. 巻 22
2. 論文標題 Phase 1 trial of avelumab (anti-PD-L1) in Japanese patients with advanced solid tumors, including dose expansion in patients with gastric or gastroesophageal junction cancer: the JAVELIN Solid Tumor JPN trial	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Gastric Cancer	6. 最初と最後の頁 817-827
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10120-018-0903-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mishima S, Kawazoe A, Nakamura Y, Sasaki A, Kotani D, Kuboki Y, Bando H, Kojima T, Doi T, Ohtsu A, Yoshino T, Kuwata T, Tsuji A, Shitara K	4. 巻 7
2. 論文標題 Clinicopathological and molecular features of responders to nivolumab for patients with advanced gastric cancer	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Immunother Cancer	6. 最初と最後の頁 24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40425-019-0514-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ott PA, Bang YJ, Piha-Paul SA, Razak ARA, Bennouna J, Soria JC, Rugo HS, Cohen RB, O'Neil BH, Mehnert JM, Lopez J, Doi T, van Brummelen EMJ, Cristescu R, Yang P, Emancipator K, Stein K, Ayers M, Joe AK, Lunceford JK	4. 巻 37
2. 論文標題 T-Cell-Inflamed Gene-Expression Profile, Programmed Death Ligand 1 Expression, and Tumor Mutational Burden Predict Efficacy in Patients Treated With Pembrolizumab Across 20 Cancers: KEYNOTE-028	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Clin Oncol	6. 最初と最後の頁 318-327
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1200/JCO.2018.78.2276	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Doi T, Yang JC, Shitara K, Naito Y, Cheng AL, Sarashina A, Pronk LC, Takeuchi Y, Lin CC	4. 巻 14
2. 論文標題 Phase I Study of the Focal Adhesion Kinase Inhibitor BI 853520 in Japanese and Taiwanese Patients with Advanced or Metastatic Solid Tumors	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Targeted Oncol	6. 最初と最後の頁 57-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11523-019-00620-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Doi T, Fujiwara Y, Matsubara N, Tomomatsu J, Iwasa S, Tanaka A, Endo-Tsukude C, Nakagawa S, Takahashi S	4. 巻 84
2. 論文標題 Phase I study of ipatasertib as a single agent and in combination with abiraterone plus prednisolone in Japanese patients with advanced solid tumors	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer Chemother Pharmacol	6. 最初と最後の頁 393-404
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00280-019-03882-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto N, Ryoo BY, Keam B, Kudo M, Lin CC, Kunieda F, Ball HA, Moran D, Komatsu K, Takeda K, Fukuda M, Furuse J, Morita S, Doi T	4. 巻 38
2. 論文標題 A phase 1 study of oral ASP5878, a selective small-molecule inhibitor of fibroblast growth factor receptors 1-4, as a single dose and multiple doses in patients with solid malignancies	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Invest New Drugs	6. 最初と最後の頁 445-456
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10637-019-00780-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Esaki T, Hirai F, Makiyama A, Seto T, Bando H, Naito Y, Yoh K, Ishihara K, Kakizume T, Natsume K, Myers A, Doi T	4. 巻 110
2. 論文標題 Phase I dose-escalation study of capmatinib (INC280) in Japanese patients with advanced solid tumors	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer Sci	6. 最初と最後の頁 1340-1351
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13956	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kato K, Shah MA, Enzinger P, Bennouna J, Shen L, Adenis A, Sun JM, Cho BC, Ozguroglu M, Kojima T, Kostorov V, Hierro C, Zhu Y, McLean LA, Shah S, Doi T	4. 巻 15
2. 論文標題 KEYNOTE-590: Phase III study of first-line chemotherapy with or without pembrolizumab for advanced esophageal cancer	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Future Oncol	6. 最初と最後の頁 1057-1066
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2217/fon-2018-0609	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Harding JJ, Bauer TM, Tan DSW, Bedard PL, Rodon J, Doi T, Schnell C, Iyer V, Baffert F, Radhakrishnan R, Fabre C, Juric D	4. 巻 37
2. 論文標題 Characterization and phase I study of CLR457, an orally bioavailable pan-class I PI3-kinase inhibitor	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Invest New Drugs	6. 最初と最後の頁 271-281
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10637-018-0627-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Wong JYY, Zhang H, Hsiung CA, Shiraishi K, Kohno T, Shen H, Chanock SJ, Rothman N, Lan Q	4. 巻 112
2. 論文標題 Tuberculosis infection and lung adenocarcinoma: Mendelian randomization and pathway analysis of genome-wide association study data from never-smoking Asian women	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Genomics	6. 最初と最後の頁 1223-1232
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ygeno.2019.07.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shepshelovich D, Xu W, Kohno T, Harris CC, Wenzlaff AS, Fernandez-Tardon G, Ye Y, Taylor F, Wilkens LR, Davies M, Liu Y, Barnett MJ, Goodman GE, Morgenstern H, Holleccek B, Brown MC, Liu G, Hung RJ	4. 巻 14
2. 論文標題 Body Mass Index (BMI), BMI Change, and Overall Survival in Patients With SCLC and NSCLC: A Pooled Analysis of the International Lung Cancer Consortium	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Thorac Oncol	6. 最初と最後の頁 1594-1607
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtho.2019.05.031	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Togashi Y, Shitara K, Nishikawa H.	4. 巻 -
2. 論文標題 Regulatory T Cells in cancer immunosuppression -implications for anticancer therapy.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nat Rev Clin Oncol.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41571-019-0175-7.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inozume T, Yaguchi T, Ariyasu R, Togashi Y, Ohnuma T, Honobe A, Nishikawa H, Kawakami Y, Kawamura T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Analysis of the tumor reactivity of tumor-infiltrating lymphocytes in a metastatic melanoma lesion that lost MHC class I expression after anti-PD-1 therapy.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Invest Dermatol	6. 最初と最後の頁 30023-30025
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jid.2019.01.007.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ueda T, Aokage K, Mimaki S, Tane K, Miyoshi T, Sugano M, Kojima M, Fujii S, Kuwata T, Ochiai A, Kusumoto M, Suzuki K, Tsuchihara K, Nishikawa H, Goto K, Tsuboi M, Ishii G.	4. 巻 126
2. 論文標題 Characterization of the tumor immune-microenvironment of lung adenocarcinoma associated with usual interstitial pneumonia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Lung Cancer	6. 最初と最後の頁 162-169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.lungcan.2018.11.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ha D, Tanaka A, Kibayashi T, Tanemura A, Sugiyama D, Wing JB, Lim EL, Teng KWW, Adeegbe D, Newell EW, Katayama I, Nishikawa H, Sakaguchi S.	4. 巻 116
2. 論文標題 Differential control of human Treg and effector T cells in tumor immunity by Fc-engineered anti-CTLA-4 antibody	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A	6. 最初と最後の頁 609-618
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1812186116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tada Y, Togashi Y, Kotani D, Kuwata T, Sato E, Kawazoe A, Doi T, Wada H, Nishikawa H, Shitara K.	4. 巻 6
2. 論文標題 Targeting VEGFR2 with Ramucirumab strongly impacts effector/activated regulatory T cells and CD8+ T cells in the tumor microenvironment.J.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Immunother Cancer	6. 最初と最後の頁 106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40425-018-0403-1 (Corresponding Author)	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi Y, Tanemura A, Tada Y, Katayama I, Kumanogoh A, Nishikawa H.	4. 巻 30
2. 論文標題 Clinical response to PD-1 blockade correlates with a sub-fraction of peripheral central memory CD4+ T cells in patients with malignant melanoma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Int Immunol	6. 最初と最後の頁 13-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxx073.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shitara K, Nishikawa H.	4. 巻 1417
2. 論文標題 Regulatory T cells: a potential target in cancer immunotherapy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Ann NY Acad Sci.	6. 最初と最後の頁 104-115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/nyas.13625	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawazoe A, Shitara K, Kuboki Y, Bando H, Kojima T, Yoshino T, Ohtsu A, Ochiai A, Togashi Y, Nishikawa H, Doi T, Kuwata T.	4. 巻 22
2. 論文標題 Clinicopathological features of 22C3 PD-L1 expression with mismatch repair, Epstein-Barr virus status, and cancer genome alterations in metastatic gastric cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Gastric Cancer	6. 最初と最後の頁 69-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10120-018-0843-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi N, Nishiwaki K, Nakaseko C, Aotsuka N, Sano K, Ohwada C, Kuroki J, Kimura H, Tokuhira M, Mitani K, Fujikawa K, Iwase O, Ohishi K, Kimura F, Fukuda T, Tanosaki S, Takahashi S, Kameoka Y, Nishikawa H, Wakita H.	4. 巻 103
2. 論文標題 Treatment-free remission after two-year consolidation therapy with nilotinib in patients with chronic myeloid leukemia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 1835-1842
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2018.194894	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shitaoka K, Hamana H, Kishi H, Hayakawa Y, Kobayashi E, Sukegawa K, Piao X, Lyu F, Nagata T, Sugiyama D, Nishikawa H, Tanemura A, Katayama I, Murahashi M, Takamatsu Y, Tani K, Ozawa T, Muraguchi A.	4. 巻 6
2. 論文標題 Identification of Tumoricidal TCRs from Tumor-Infiltrating Lymphocytes by Single-Cell Analysis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Immunol Res	6. 最初と最後の頁 378-388
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2326-6066.CIR-17-0489	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ueda T, Aokage K, Nishikawa H, Neri S, Nakamura H, Sugano M, Tane K, Miyoshi T, Kojima M, Fujii S, Kuwata T, Ochiai A, Kusumoto M, Suzuki K, Tsuboi M, Ishii G.	4. 巻 144
2. 論文標題 Clinical response to PD-1 blockade correlates with a sub-fraction of peripheral central memory CD4+ T cells in patients with malignant melanoma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Cancer Res Clin Oncol	6. 最初と最後の頁 835-844
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00432-018-2602-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi Y, Tanemura A, Tada Y, Katayama I, Kumanogoh A, Nishikawa H.	4. 巻 30
2. 論文標題 Clinical response to PD-1 blockade correlates with a sub-fraction of peripheral central memory CD4+ T cells in patients with malignant melanoma.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Immunology	6. 最初と最後の頁 13-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxx073	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Togashi Y, Nishikawa H	4. 巻 18(12)
2. 論文標題 Suppression from beyond the grave.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nat Immunol	6. 最初と最後の頁 1285-1286
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ni.3870	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiwaki S, Sugiura I, Miyata Y, Saito S, Sawa M, Nishida T, Miyamura K, Kuwatsuka Y, Kohno A, Yuge M, Kasai M, Iida H, Kurahashi S, Osaki M, Goto T, Terakura S, Murata M, Nishikawa H and Kiyoi H	4. 巻 96(52)
2. 論文標題 Efficacy and safety of autologous peripheral blood stem cell transplantation for Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia: A study protocol for a multicenter exploratory prospective study (Auto-Ph17 study).	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Medicine	6. 最初と最後の頁 e9568
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/MD.00000000000009568	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Enokida T, Nishikawa H	4. 巻 9(8)
2. 論文標題 Regulatory T cells, as a target in anticancer immunotherapy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Immunotherapy	6. 最初と最後の頁 623-627
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2217/imt-2017-0057	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Togashi Y, Nishikawa H.	4. 巻 410
2. 論文標題 Regulatory T Cells: Molecular and Cellular Basis for Immunoregulation.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Curr Top Microbiol Immunol	6. 最初と最後の頁 3-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/82_2017_58	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Doki N, Suyama M, Sasajima S, Ota J, Igarashi A, Mimura I, Morita H, Fujioka Y, Sugiyama D, Nishikawa H, Shimazu Y, Suda W, Takeshita K, Atarashi K, Hattori M, Sato E, Watakabe-Inamoto K, Yoshioka K, Najima Y, Kobayashi T, Kakihana K, Takahashi N, Sakamaki H, Honda K, Ohashi K	4. 巻 96(9)
2. 論文標題 Clinical impact of pre-transplant gut microbial diversity on outcomes of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Ann Hematol.	6. 最初と最後の頁 1517-1523
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00277-017-3069-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Enokida T, Nishikawa H.	4. 巻 9(8)
2. 論文標題 Regulatory T cells, as a target in anticancer immunotherapy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Immunotherapy	6. 最初と最後の頁 623-627
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2217/imt-2017-0057	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeoka T, Nagase H, Kurose K, Ohue Y, Yamasaki M, Takiguchi S, Sato E, Isobe M, Kanazawa T, Matsumoto M, Iwahori K, Kawashima A, Morimoto-Okazawa A, Nishikawa H, Oka M, Pan L, Venhaus R, Nakayama E, Mori M, Doki Y and Wada H	4. 巻 40(4)
2. 論文標題 NY-ESO-1 Protein Cancer Vaccine With Poly-ICLC and OK-432: Rapid and Strong Induction of NY-ESO-1-specific Immune Responses by Poly-ICLC	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Immunother	6. 最初と最後の頁 140-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/CJI.000000000000162.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hamano Y, Kida H, Ihara S, Murakami A, Yanagawa M, Ueda K, Honda O, Tripathi LP, Arai T, Hirose M, Hamasaki T, Yano Y, Kimura T, Kato Y, Takamatsu H, Otsuka T, Minami T, Hirata H, Inoue K, Nagatomo I, Takeda Y, Mori M, Nishikawa H, Mizuguchi K, Kijima T, Kitaichi M, Tomiyama N, Inoue Y and Kumanogoh A.	4. 巻 7
2. 論文標題 Classification of idiopathic interstitial pneumonias using anti-myxovirus resistance-protein 1 autoantibody.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 43201
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep43201	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計141件（うち招待講演 79件 / うち国際学会 37件）

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 肝臓における微小環境の免疫抑制機構に基づいたがん免疫療法
3. 学会等名 第25回日本肝がん分子標的治療研究会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 腫瘍微小環境での制御性T細胞による免疫抑制
3. 学会等名 第34回日本バイオセラピー学会学術集会総会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 Immunosuppression by regulatory T cells in the tumor microenvironment
3. 学会等名 第50回日本免疫学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 免疫ゲノム解析に基づく新たながん免疫プレシジョン医療の展開
3. 学会等名 第32回日本消化器癌発生学会総会 / 第10回国際消化器癌発生会議（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん免疫療法の新展開
3. 学会等名 第59回日本癌治療学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん免疫療法の現状と今後の展望；がん細胞と免疫細胞の関わりに注目して
3. 学会等名 第80回日本癌学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 基礎から考えるがん免疫療法 Now & Future：臓器特異性をどう考えるか？
3. 学会等名 第28回肝細胞研究会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 基礎から考えるがん免疫療法 Now & Future - 臓器特異性をどう考えるか -
3. 学会等名 第57回日本肝癌研究会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん免疫研究の現状と展望 - 肝癌治療への展開 -
3. 学会等名 第57回日本肝癌研究会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 非小細胞肺癌に対する免疫応答：臓器特異性をどう考えるか？
3. 学会等名 第127回日本結核・非結核性抗酸菌症学会近畿支部学会 / 第97回日本呼吸器学会近畿地方会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がんゲノム解析による新たながん免疫療法の展開，「がん免疫療法の成果と次なる挑戦」
3. 学会等名 第58回日本消化器免疫学会総会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん免疫療法と腸内細菌
3. 学会等名 第21回日本抗加齢医学会総会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 非小細胞肺癌に対する免疫療法の今後の展開
3. 学会等名 第61回呼吸器学会学術講演会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 非小細胞肺癌に対する免疫応答：肝転移をどう考えるか？
3. 学会等名 第61回呼吸器学会学術講演会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Okumura G, Koyama S, Nishikawa H
2. 発表標題 Establishment of novel immunotherapy targeting NK cells in metastatic colorectal cancer
3. 学会等名 第50回日本免疫学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tsukada Y, Bando H, Inamori K, Togashi Y, Koyama S, Kotani D, Fukuoka S, Yuki S, Komatsu Y, Homma S, Taketomi A, Uemura M, Kato T, Fukui M, Wakabayashi M, Nakamura N, Kojima M, Sato A, Nishikawa H, Ito M, Yoshino T
2. 発表標題 Preoperative Chemoradiotherapy plus Consolidation Immune-Checkpoint Inhibitor followed by Radical Surgery for Locally Advanced Rectal Cancer
3. 学会等名 第59回日本癌治療学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yamaguchi J, Hinohara K, Nishikawa H
2. 発表標題 Epigenetic roles of the chromatin remodeller ATRX and its synthetic lethal targets in astrocytoma
3. 学会等名 第80回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yamano K, Kato S, Hinohara K, Nishikawa H
2. 発表標題 Deciphering cancer dynamics toward therapeutic resistance to immune checkpoint inhibitors by using barcode technology
3. 学会等名 第80回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Chen T, Kato S, Hinohara K, Nishikawa H
2. 発表標題 The role of histone methyltransferase G9a in tumor immune response
3. 学会等名 第80回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Sugiyama E, Togashi Y, Takeuchi Y, Shinya S, Tada Y, Kataoka K, Tane K, Sato E, Ishii G, Goto K, Shinntani Y, Okumura M, Tsuboi M, Nishikawa H
2. 発表標題 Novel concept of EGFR-signal contribution to unique immunological status in EGFR-mutated NSCLC
3. 学会等名 第80回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Sugiyama D, Muramatsu T, Noguchi T, Kato S, Hinohara K, Nishikawa H
2. 発表標題 Immune responses against immunogenic neoantigens enable to break the resistance to immune checkpoint inhibitors
3. 学会等名 第80回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Sato D, Koyama S, Kumagai S, Sai A, Sunakawa H, Kotani D, Kawazoe A, Sakashita S, Yoda Y, Shitara K, Kuwata T, Nishikawa H, Yano T
2. 発表標題 Prediction of tumor microenvironment using Oxygen saturation endoscopic imaging
3. 学会等名 第80回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 林新子、古林陽一、藤巻加於梨、佐藤一紀、石田さおり、杉山大介、佐藤貴彦、林庚澤、宮本恵美、門倉慶知、脇田賢一、秦真人、平原一樹、天野正人、岡本敦之、種村篤、丸山彰一、我妻利紀、和田悌司、西川博嘉
2. 発表標題 抗 GARP 抗体 DS-1055a の GARP 陽性制御性 T 細胞除去によるがん免疫賦活化作用
3. 学会等名 第25回日本がん免疫学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 種子島時祥、河津正人、小山正平、武内在雄、塩田真己、猪口淳一、西川博嘉、江藤正俊
2. 発表標題 腫瘍微小環境で制御性 T 細胞の活性化を誘導する遺伝子異常の発見
3. 学会等名 第25回日本がん免疫学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 熊谷尚悟、鎌田貴裕、富樫庸介、小山正平、川添彬人、河津正人、青景圭樹、名嘉眞健太、吉田達哉、山崎直也、大江裕一郎、坪井正博、設樂紘平、間野博行、西川博嘉
2. 発表標題 腫瘍局所における代謝機構を介した制御性 T 細胞の新規 PD-1 発現機構の解明
3. 学会等名 第25回日本がん免疫学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hiroyoshi Nishikawa
2. 発表標題 Tumor-infiltrating lymphocytes as a new biomarker
3. 学会等名 Electronic scientific and practical conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hiroyoshi Nishikawa
2. 発表標題 Immunosuppression by Regulatory T Cells in the Tumor Microenvironment
3. 学会等名 2021 JCA-AACR Precision Cancer Medicine International Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hiroyoshi Nishikawa
2. 発表標題 Immune suppression by regulatory T cells in the tumor microenvironment
3. 学会等名 IAA02021 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1 . 発表者名 Hiroyoshi Nishikawa
2 . 発表標題 Immune suppression in the tumor microenvironment
3 . 学会等名 【MMCB2021】The 27th International Symposium on Molecular Cell Biology of Macrophages (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Teiji Wada, Kazuki Satoh, Yoichi Kobayashi, Kaori Fujimaki, Shinko Hayashi, Saori Ishida, Daisuke Sugiyama, Masato Hata, Kazuki Hirahara, Masato Amano, Ichiro Watanabe, Atsushi Okamoto, Atsushi Tanemura, Shoichi Maruyama, Toshinori Agatsuma, Hiroyoshi Nishikawa
2 . 発表標題 Novel anti-GARP antibody DS-1055a depletes highly suppressive GARP+ regulatory T cells and augments anti-tumor immunity
3 . 学会等名 The 29th Annual Meeting of The Korean Society of Applied Pharmacology (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Keikka T, Tyster M, Lundgren S, Kerr C, Hosokawa K, Huuhtanen J, Keranen M, Feng X, Kawakami T, Maeda Y, Nieminen O, Kasanen T, Aronen P, Yadav B, Rajala H, Nakazawa H, Jaatinen T, Ogawa S, Ishida F, Nishikawa H, Young N, Nakao S, Maciejewski J, Mustjoki S
2 . 発表標題 ANTI-COX-2 AUTOANTIBODY AS A NOVEL DIAGNOSTIC MARKER IN APLASTIC ANEMIA
3 . 学会等名 European Hematology Association Congress 2021(EHA2021) (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Takiguchi S, Shitara K, Takiguchi N, Ito S, Kochi M, Horinouchi H, Kinoshita T, Muro K, Yoshikawa T, Hasegawa H, Nishikawa H, Kodera Y
2 . 発表標題 Neoadjuvant Nivolumab Monotherapy in Patients With Resectable Gastric Cancer: Preliminary Results From a Multicenter Study
3 . 学会等名 2021 ASCO Annual Meeting (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1. 発表者名 Minamide T, Kashima Y, Irie T, Koyama S, Togashi Y, Suzuki, A, Yamashita H, Nakamura Y, Shitara K, Tanaka H, Yoshida T, Inaki K, Chihara M, Wada T, Nishimura K, Nakamura A, Murai S, Ohashi A, Suzuki Y, Tsuchihara K, Nishikawa H, Yano T, Doi T
2. 発表標題 Dissecting Transcriptomic Heterogeneity In Primary Esophageal Squamous Cell Carcinoma By Single-Cell RNA Sequencing
3. 学会等名 Digestive Disease Week (DDW) 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Daisuke Sugiyama, Tomoaki Muramatsu, Takuro Noguchi, Yoshiki Akatsuka, Hiroyoshi Nishikawa
2. 発表標題 Newly emerged immunogenic neoantigens enable to break the resistance of immune checkpoint inhibitors
3. 学会等名 AACR Annual Meeting2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん細胞および免疫応答解析に基づくがん免疫療法効果予測診断法の確立
3. 学会等名 令和2年度HTLV-1関連疾患研究領域研究班合同発表会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 基礎免疫学の観点から考える複合免疫療法の有用性
3. 学会等名 第108回日本泌尿器科学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん免疫応答と腸内細菌叢の関連
3. 学会等名 第48回日本臨床免疫学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 腫瘍微小環境の免疫抑制機構を標的とした次世代がん免疫療法
3. 学会等名 第79回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 赤塚美樹、楯屋良子、西尾信博、一戸辰夫、岡村文子、西川博嘉
2. 発表標題 不適合HLA-DP抗原を標的とする同種造血細胞移植後の養子免疫療法の開発
3. 学会等名 第24回日本がん免疫学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 河津正人、岸上史士、波江野洋、石原聡一郎、西川博嘉、間野博行
2. 発表標題 クラスI HLA変異に基づいたマイクロサテライト高度不安定性大腸がんの免疫学的状態の分類
3. 学会等名 第24回日本がん免疫学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 長谷川裕高、杉山大介、神田光郎、林真路、田中千恵、山田 豪、中山吾郎、小池聖彦、野本周嗣、藤原道隆、小寺泰弘、西川博嘉
2. 発表標題 抗 PD-1 抗体と抗 PD-L1 抗体を用いた新規がん免疫療法の開発
3. 学会等名 第79回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 種子島時祥、竹内美子、江藤正俊、西川博嘉
2. 発表標題 免疫原性の高い癌細胞は免疫から逃避するために発癌経路の活性化を必要とする
3. 学会等名 第79回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西塔拓郎、山下公太郎、田中晃司、山本和義、牧野知紀、高橋剛、黒川幸典、山崎誠、和田尚、西川博嘉、坂口志文、江口英利、土岐祐一郎
2. 発表標題 大腸直腸癌に浸潤する活性型制御性T細胞の予後への影響
3. 学会等名 第79回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 河津正人、岸上史士、上野敏秀、波江野洋、石原聡一郎、西川博嘉、間野博行
2. 発表標題 マイクロサテライト高度不安定性大腸がんにおけるクラス I HLA 変異解析と免疫学的状態の分類
3. 学会等名 第79回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 日野原邦彦、西川博嘉
2. 発表標題 腫瘍内不均一性から紐解くがん免疫療法への耐性メカニズム
3. 学会等名 第79回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Hiroyoshi Nishikawa
2. 発表標題 Regulatory T cells: Biology and targeting
3. 学会等名 ESMO Immuno-Oncology Virtual Congress 2020 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Inamori K, Togashi Y, Bando H, Tsukada Y, Fukuoka S, Suzuki A, Suzuki Y, Kotani D, Kojima M, Fukui M, Yuki S, Komatsu Y, Homma S, Taketomi A, Uemura M, Kato T, Ito M, Nishikawa H, Yoshino T
2. 発表標題 Translational Research of VOLTAGE-A: Efficacy Predictors of Preoperative Chemoradiotherapy and Consolidation Nivolumab in Patients with both Microsatellite Stable and Microsatellite Instability-High Locally Advanced Rectal Cancer.(EPOC1504)
3. 学会等名 The 2021 Gastrointestinal Cancers Symposium (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Satoshi Yuki, Hideaki Bando, Yuichiro Tsukada, Koji Inamori, Yoshito Komatsu, Shigenori Homma, Mamoru Uemura, Takeshi Kato, Daisuke Kotani, Shota Fukuoka, Naoki Nakamura, Makoto Fukui, Masashi Wakabayashi, Motohiro Kojima, Yosuke Togashi, Akihiro Sato, Hiroyoshi Nishikawa, Masaaki Ito, Takayuki Yoshino
2. 発表標題 S0-37: Short-Term Results of VOLTAGE-A: Nivolumab Monotherapy and Subsequent Radical Surgery Following Preoperative Chemoradiotherapy in Patients with Microsatellite Stable and Microsatellite Instability- High Locally Advanced Rectal Cancer (EPOC 1504)
3. 学会等名 the ESMO 22nd World Congress on Gastrointestinal Cancer(22wgcig) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名	Akihito Kawazoe, Noboru Yamamoto, Daisuke Kotani, Yasutoshi Kuboki, Hiroya Taniguchi, Kenichi Harano, Yoichi Naito, Mitsuko Suzuki, Miki Fukutani, Hikari Shima, Tsukiko Higuchi, Masashi Wakabayashi, Shogo Nomura, Akihiro Sato, Hiroyoshi Nishikawa, Kohei Shitar
2. 発表標題	TAS-116, an oral HSP90 inhibitor, in combination with nivolumab in patients with colorectal cancer and other solid tumors: An open-label, dose-finding, and expansion phase Ib trial (EPOC1704)
3. 学会等名	2020 ASCO annual meeting (国際学会)
4. 発表年	2020年

1. 発表者名	Satoshi Yuki, Hideaki Bando, Yuichiro Tsukada, Koji Inamori, Yoshito Komatsu, Shigenori Homma, Mamoru Uemura, Takeshi Kato, Daisuke Kotani, Shota Fukuoka, Naoki Nakamura, Makoto Fukui, Masashi Wakabayashi, Motohiro Kojima, Yosuke Togashi, Akihiro Sato, Hiroyoshi Nishikawa, Masaaki Ito, Takayuki Yoshino
2. 発表標題	Short-term results of VOLTAGE-A: Nivolumab monotherapy and subsequent radical surgery following preoperative chemoradiotherapy in patients with microsatellite stable and microsatellite instability-high locally advanced rectal cancer.
3. 学会等名	2020 ASCO annual meeting (国際学会)
4. 発表年	2020年

1. 発表者名	Koji Inamori, Yosuke Togashi, Hideaki Bando, Yuichiro Tsukada, Ayako Suzuki, Yutaka Suzuki, Daisuke Kotani, Shota Fukuoka, Motohiro Kojima, Makoto Fukui, Satoshi Yuki, Yoshito Komatsu, Shigenori Homma, Mamoru Uemura, Takeshi Kato, Masaaki Ito, Hiroyoshi Nishikawa, Takayuki Yoshino
2. 発表標題	Translational research of voltage-A1: Efficacy predictors of preoperative chemoradiotherapy and subsequent nivolumab monotherapy in patients with microsatellite-stable locally advanced rectal cancer.
3. 学会等名	2020 ASCO annual meeting (国際学会)
4. 発表年	2020年

1. 発表者名	Shitara K, Hara H, Takahashi N, Kojima T, Kawazoe A, Asayama M, Yoshii T, Kotani D, Tamura H, Mikamoto Y, Hirano N, Wakabayashi M, Nomura S, Sato A, Nishikawa H, Fukuoka S
2. 発表標題	Updated results from a phase Ib trial of regorafenib plus nivolumab in patients with advanced colorectal or gastric cancer
3. 学会等名	2020 Gastrointestinal Cancers Symposium (国際学会)
4. 発表年	2020年

1. 発表者名 Hara H, Kawazoe A, Kuboki Y, Komatsu Y, Nishina T, Shinozaki E, Yuki S, Takahashi K, Mikamoto Y, Hirano N, Nomura S, Togashi Y, Nishikawa H, Sato A, Ohtsu A, Yoshino T
2. 発表標題 Multicenter phase I/II trial of BBI608 and pembrolizumab in patients with metastatic colorectal cancer
3. 学会等名 2020 Gastrointestinal Cancers Symposium (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kato T, Bando H, Tsukada Y, Inamori K, Uemura M, Yuki S, Komatsu Y, Homma S, Kotani D, Fukuoka S, Sasaki T, Nishizawa Y, Nakamura N, Wakabayashi M, Kojima M, Togashi Y, Sato A, Nishikawa H, Yoshino T, Ito M
2. 発表標題 VOLTAGE-B Study: Nivolumab monotherapy and subsequent curative surgery following preoperative chemoradiotherapy in patients with locally recurrent rectal cancer (LRR) without previous radiotherapy
3. 学会等名 2020 Gastrointestinal Cancers Symposium (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん細胞および免疫応答解析に基づくがん免疫療法効果予測診断法の確立
3. 学会等名 令和元年度HTLV-1関連疾患研究領域研究班合同発表会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nishikawa H
2. 発表標題 Tumor microenvironment influences to guide immuno-oncology utilization
3. 学会等名 The 6th Immuno-Oncology Academy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishikawa H
2. 発表標題 Regulatory T Cells in The Tumor Microenvironment and Cancer Progression: What's New in Therapeutic Targeting Strategies?
3. 学会等名 2019 ASCO ANNUAL MEETING (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishikawa H
2. 発表標題 Regulatory T cells in the tumour microenvironment
3. 学会等名 HHMT14th International Forum on Ovarian Cancer (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん微小環境の免疫抑制機構とがん免疫療法
3. 学会等名 第34回日本臨床リウマチ学会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん局所の免疫抑制ネットワークからみたがん免疫療法
3. 学会等名 日本放射線腫瘍学会第32会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishikawa H
2. 発表標題 Immune Suppressive Mechanisms in Tumor Microenvironment as a Target of Novel Cancer Immunotherapy
3. 学会等名 第50回記念 高松宮妃癌研究財団国際シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishikawa H
2. 発表標題 T cell suppression in the tumor microenvironment
3. 学会等名 The 10th annual meeting of ACTO (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん微小環境における免疫抑制ネットワーク
3. 学会等名 第57回日本癌治療学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん微小環境の免疫抑制ネットワークの理解とがん免疫療法への展開
3. 学会等名 第62回日本口腔科学会中部地方部会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 腫瘍微小環境での免疫抑制ネットワーク
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん微小環境の免疫抑制ネットワークとがん免疫療法
3. 学会等名 第31回高遠・分子細胞生物学シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 臨床応用が進むがん免疫療法の基礎
3. 学会等名 第84回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 血液悪性疾患治療における免疫反応の重要性 (The importance of immune responses in the treatment of hematologic malignancies)
3. 学会等名 第17回日本臨床腫瘍学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん免疫療法、過去、現在、そして未来、口頭、市民公開講座
3. 学会等名 第118回日本皮膚科学会総会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん免疫療法の臨床応用によってわかったことと今後の課題
3. 学会等名 第105回日本消化器病学会総会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 新しい解析技術によるがん免疫研究
3. 学会等名 第63回日本リウマチ学会総会・学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishikawa H
2. 発表標題 Immune suppressive network within the tumor microenvironment
3. 学会等名 Nagoya Immunology Network in NCU The first international symposium（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柘植彩花、富樫庸介、西川博嘉
2. 発表標題 A novel regulatory T cell-targeted immunotherapy via meddling the crucial signal by HSP90 inhibitors
3. 学会等名 第48回日本免疫学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 前田優香、徳永昌浩、杉山大介、ワーナー アリソン、ウォルチョコク ジェド、西川博嘉
2. 発表標題 ステロイドによる脂肪酸代謝阻害を介したメモリーCD8陽性T細胞の選択的抑制
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 種子島時祥、富樫庸介、東公一、江藤正俊、西川博嘉
2. 発表標題 腫瘍に発現するPD-L2の免疫抑制機能について
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tsuge A, Togashi Y, Shitara K, Nishikawa H
2. 発表標題 A Novel Regulatory T Cell-Targeted Immunotherapy by targeting their Crucial Signal by HSP90 Inhibitors
3. 学会等名 SITC 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kirita K, Sugiyama E, Togashi Y, Udagawa H, Irie T, Iida S, Nakamoto M, Nomura S, Ikeda T, Zenke Y, Matsumoto S, Yoh K, Niho S, Sato A, Nishikawa H, Goto H
2. 発表標題 Clinical utility of precision immunoprofiling and monitoring of the tumor microenvironment using flow cytometry and CyTOF in patients with advanced NSCLC treated with atezolizumab: results from a phase II study for biomarker analysis (EPOC1702)
3. 学会等名 ESMO Congress 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 種子島時祥、塚原茂大、池之上俊、大坪智志、長谷川周二、西川博嘉、江藤正俊
2. 発表標題 転移性腎細胞癌に対するニボルマブ治療が奏功し原発巣を摘除し得た1例
3. 学会等名 第23回日本がん免疫学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sugiyama E, Togashi Y, Takeuchi Y, Shinya S, Tada Y, Kataoka K, Tane K, Ishii G, Goto K, Shintani Y, Okumura M, Tsuboi M, Nishikawa H
2. 発表標題 Novel concept of EGFR-signal contribution to unique immunological status in EGFR-mutated NSCLC
3. 学会等名 第17回日本臨床腫瘍学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kirita K, Sugiyama E, Togashi Y, Udagawa H, Irie T, Iida S, Nakamoto M, Nomura S, Ikeda T, Zenke Y, Matsumoto S, Yoh K, Niho S, Sato A, Nishikawa H, Goto K
2. 発表標題 Clinical utility of precision immunoprofiling and monitoring of the tumor microenvironment using flow cytometry and CyTOF in patients with advanced NSCLC treated with atezolizumab: results from a phase II study for biomarker analysis
3. 学会等名 第17回日本臨床腫瘍学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tanegashima T, Tsukahara S, Ikenoue T, Otsubo S, Hasegawa S, Nishikawa H, Eto M
2. 発表標題 Primary tumor resection after nivolumab treatment for metastatic renal cell carcinoma: A case report
3. 学会等名 第17回日本臨床腫瘍学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 種子島時祥、江藤正俊、西川博嘉
2. 発表標題 腫瘍に発現するPD-L2の免疫抑制機能について
3. 学会等名 第50回腎癌研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 免疫抑制機構に着目したがん免疫療法
3. 学会等名 第30回日本医学会総会2019中部
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 基礎研究からみたがん免疫療法の現状と今後の展開
3. 学会等名 第119回日本外科学会定期学術集会
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Kumagai S, Togashi Y, Shitara K, Tsuchihara K, Nishikawa H
2 . 発表標題 The association of genomic features and immunosuppression in gastric cancer
3 . 学会等名 AACR Annual Meeting 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Kamada T, Togashi Y, Ohue Y, Nishikawa H
2 . 発表標題 The secondary immune selection is the dominant mechanism for acquired resistance against adoptive cell therapy
3 . 学会等名 AACR Annual Meeting 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Hiroyoshi Nishikawa
2 . 発表標題 Assessment of immunodynamics in cancer immunotherapy
3 . 学会等名 KCSG-CITN JOINT SYMPOSIUM (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Shota Fuoka, Motooka Daisuke, Yosuke Togashi, Eri Sugiyama, Hibiki Udagawa, Keisuke Kirita, Takahiro Kamada, Akihito Kawazoe, Koichi Goto, Toshihiko Doi, Kohei Shitara, Shota Nakamura, Hiroyoshi Nishikawa
2 . 発表標題 Association of gut microbiome with immune status and clinical response in solid tumor patients who received on anti-PD-1
3 . 学会等名 2018 ASCO ANNUAL MEETING (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Takashi Kojima, Toshiyoshi Fujiwara, Yasuhiro Shirakawa, Hiromi Ono, Masako Nakamoto, Hiromi Hasegawa, Nami Hirano, Masashi Wakabayashi, Shogo Nomura, Yosuke Togashi, Hiroyoshi Nishikawa, Akihiro Sato, Atsushi Ohtsu, Toshihiko Doi
2. 発表標題 An open label phase I study to evaluate the safety and efficacy of OBP-301 with pembrolizumab in patients with advanced solid tumors
3. 学会等名 2018 ASCO ANNUAL MEETING (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yosuke Togashi, Takahiro Kamada, Akinori Sasaki, Yoshioaki Nakamura, Shota Fukuoka, Yasuko Tada, Akihito Kawazoe, Kohei Shitara, Hiroyoshi Nishikawa
2. 発表標題 Clinicopathological, genomic and immunological features of hyperprogressive disease during PD-1 blockade in gastric cancer patients
3. 学会等名 2018 ASCO ANNUAL MEETING (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Eiji Shinozaki, Akihito Kawazoe, Yasutoshi Kuboki, Yoshito Komatsu, Tomohiro Nishina, Hiroki Hara, Satoshi Yuki, Kohei Shitara, Hideaki Bando, Daisuke Kotani, Koji Takahashi, Yuichi Mikamoto, Hiromi Hasegawa, Nami Hirano, Shogo Nomura, Yosuke Togashi, Hiroyoshi Nishikawa, Akihiro Sato, Atsushi Ohtsu, Takayuki Yoshino
2. 発表標題 Multicenter phase I/II trial of BB1608 and pembrolizumab combination in patients with metastatic colorectal cancer (SCOOP Study): EPOC1503
3. 学会等名 2018 ASCO ANNUAL MEETING (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroyoshi Nishikawa
2. 発表標題 Roll of regulatory T cells in immuno-oncology
3. 学会等名 AACR-KCA Joint Conference on PRECISION MEDICINE IN SOLID TUMORS (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroyoshi Nishikawa
2. 発表標題 Immune-suppressive network in tumor microenvironment
3. 学会等名 AACR annual meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroyoshi Nishikawa
2. 発表標題 Importance for analyzing high parameter immune-related biomarkers using CyTOF technology to decipher tumor microenvironment
3. 学会等名 第47回日本免疫学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ayaka Tsuge, Yosuke Togashi, Hiroyoshi Nishikawa
2. 発表標題 Immunotherapy targeting effector Treg cells via heat shock protein 90
3. 学会等名 第47回日本免疫学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 塩田哲広、橋本健太郎、野原淳、石床学、渡邊壽規、山本善啓、新宅雅幸、杉山栄里、富樫庸介、西川博嘉
2. 発表標題 悪性胸膜皮腫における腫瘍内浸潤リンパ球の検討
3. 学会等名 第59回日本肺癌学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん免疫応答のがん治療への応用－現状と今後の展開－
3. 学会等名 第68回日本泌尿器科学会中部総会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤岡優樹、山崎美貴、小林敬宏、高橋直人、西川博嘉
2. 発表標題 T細胞応答におけるElotuzumab の機能解析
3. 学会等名 第80回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山内寛彦、湯田淳一郎、藤岡優樹、長崎謙慈、山崎美貴、富樫庸介、南陽介、西川博嘉
2. 発表標題 免疫プロファイリングによる、濾胞性リンパ腫の予後予測
3. 学会等名 第80回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 湯田淳一郎、板橋耕太、富樫庸介、山内寛彦、南陽介、西川博嘉
2. 発表標題 脱メチル化阻害薬はMDSにおける腫瘍免疫を増強する
3. 学会等名 第80回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 前田優香、杉山大介、西川博嘉
2. 発表標題 免疫チェックポイント阻害薬によるirAEに対するステロイド剤の作用機序の解明
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん免疫療法の基礎
3. 学会等名 第16回日本臨床腫瘍学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroyoshi Nishikawa
2. 発表標題 Complexed Immune Suppressive Mechanisms In Tumor Microenvironment
3. 学会等名 The 6th JCA-AACR Special Joint Conference
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroyoshi Nishikawa
2. 発表標題 Cancer Immunology and Future Direction of Immune(Checkpoint) Therapy
3. 学会等名 JSMO/ASCO Young Oncologist Workshop 2018 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん免疫療法の臨床応用によってわかったことと今後の展開
3. 学会等名 第28回日本口腔内科学会・第31回日本口腔診断学会 合同学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 杉山大介、西川博嘉
2. 発表標題 効果的ながん免疫療法の確立に向けた基礎研究
3. 学会等名 第22回日本がん分子標的治療学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroyoshi Nishikawa
2. 発表標題 Immune suppressive network within the tumor microenvironment
3. 学会等名 Nagoya Immunology Network in NCU The first international symposium (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoshihiro Ohue, Hiroyoshi Nishikawa
2. 発表標題 Analysis of immunological resistance to anti-tumor immunity
3. 学会等名 The 23rd Japanese Foundation for Cancer Research International Symposium on Cancer Chemotherapy (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tokiyoshi Tanegashima, Hiroyoshi Nishikawa
2. 発表標題 Immune suppression by PD-L2 against spontaneous and treatment-related antitumor immunity
3. 学会等名 The 23rd Japanese Foundation for Cancer Research International Symposium on Cancer Chemotherapy (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroyoshi Nishikawa
2. 発表標題 Tumor immunity and cancer immunotherapies
3. 学会等名 第47回日本免疫学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 免疫ゲノム解析を用いたがん免疫応答の本態解明
3. 学会等名 第32回日本エイズ学会学術集会・総会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん免疫療法の現状と将来展望
3. 学会等名 日本内科学会学術集会 第46回内科学会の展望 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん免疫療法の基礎的考察
3. 学会等名 第59回日本肺癌学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん微小環境で免疫応答に何が起きているのか？
3. 学会等名 第28回日本医療薬学会年会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 CMLと免疫系のクロストーク
3. 学会等名 第80回日本血液学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 腸内細菌叢の免疫抑制性腫瘍小環境への関わり
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術総会、シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 免疫チェックポイント阻害剤の最新の知見
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術総会、シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん免疫療法の臨床応用にやってわかったことと今後の展開
3. 学会等名 第28回日本口腔内科学会・第31回日本口腔診断学会 合同学術大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 Roll of regulatory T cells as a predictive maker in immuno-oncology
3. 学会等名 第18回 国際薬理学・臨床薬理学会会議（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん免疫の現状と課題
3. 学会等名 第58回日本呼吸器学会学術講演会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 大腸癌における遺伝子、腸内細菌叢および免疫応答の統合解析による治療への展開
3. 学会等名 第16回日本臨床腫瘍学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 Cancer Immunology and Future Direction of Immune(Checkpoint) Therapy
3. 学会等名 JSMO/ASCO Young Oncologist Workshop 2018（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 Immuno-genome analyses to decipher anti-tumor immune responses
3. 学会等名 The 22nd Japanese Foundation for Cancer Research International Symposium on Cancer Chemotherapy（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん微小環境における免疫抑制機構
3. 学会等名 第58回日本肺癌学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 Immune suppressive mechanisms as a target of effective cancer immunotherapy
3. 学会等名 第76回日本癌学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 Immune suppression in tumor microenvironment
3. 学会等名 第76回日本癌学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 How do we target the immunosuppressive cancer microenvironment?
3. 学会等名 第15回日本臨床腫瘍学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 The role of FoxP3+ T cells in colorectal cancer
3. 学会等名 第15回日本臨床腫瘍学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん免疫における制御性T細胞の役割
3. 学会等名 第38回日本炎症・再生医学会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 肺癌に対する免疫応答解析と免疫療法への展開
3. 学会等名 第225回日本呼吸器学会関東地方会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん微小環境に着目した新たながん免疫療法
3. 学会等名 第53回日本肝癌研究会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 免疫チェックポイント阻害剤の基礎
3. 学会等名 第33回日本皮膚悪性腫瘍学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 Immune suppressive microenvironment in cancer tissues
3. 学会等名 第21回日本がん免疫学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 Complexity of immune suppressive microenvironment in cancers
3. 学会等名 The 36th Sapporo International Cancer Symposium（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん局所の免疫抑制機構での制御性T細胞の役割
3. 学会等名 第21回日本がん分子標的治療学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 Targeting immuo-suppressive cancer microenvironment for successful cancer immunotherapy
3. 学会等名 第6回アジア太平洋肝胆膵学会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん免疫分野とがん免疫療法の近年の進歩
3. 学会等名 第29回日本内分泌外科学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん免疫療法の効果促進に向けた試み
3. 学会等名 日本癌学会市民公開講座（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 腫瘍免疫の基礎（新たな薬剤の開発に向けて）
3. 学会等名 第116回日本皮膚科学会総会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん免疫に関与するがん微小環境
3. 学会等名 第57回日本呼吸器学会学術講演会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西川博嘉
2. 発表標題 がん微小環境における免疫抑制機構
3. 学会等名 第54回日本臨床分子医学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計6件

1. 著者名 宮坂昌之、小安重夫、椛島健治、西川博嘉	4. 発行年 2021年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 434
3. 書名 標準免疫学 第4版	

1. 著者名 日本臨床腫瘍学会	4. 発行年 2018年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 872
3. 書名 新臨床腫瘍学（改訂第5版）	

1. 著者名 熊ノ郷淳、西川博嘉	4. 発行年 2019年
2. 出版社 南山堂	5. 総ページ数 252
3. 書名 免疫・炎症病態×治療Update	

1. 著者名 西川博嘉	4. 発行年 2018年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 160
3. 書名 実験医学2018年6月号	

1. 著者名 熊ノ郷淳、阪口薫雄、竹田潔、吉田裕樹、西川博嘉	4. 発行年 2017年
2. 出版社 南山堂	5. 総ページ数 309
3. 書名 免疫学コア講義	

1. 著者名 影山慎一、池田裕明、珠玖洋、西川博嘉	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メディカルドゥ	5. 総ページ数 286
3. 書名 がん免疫療法 : what's now and what's next?	

〔出願〕 計7件

産業財産権の名称 がん免疫療法等における免疫関連有害事象の予測	発明者 西川博嘉、コーチン・ピタリー	権利者 名古屋大学
産業財産権の種類、番号 特許、PCT/JP2020/033698	出願年 2020年	国内・外国の別 外国

産業財産権の名称 試料保存用組成物	発明者 西川 博嘉	権利者 日本ベクトン・ディッキンソン、国立がん研
産業財産権の種類、番号 特許、PCT/JP2020/005991	出願年 2020年	国内・外国の別 外国

産業財産権の名称 免疫チェックポイント阻害薬の有効性判定バイオマーカー	発明者 西川 博嘉	権利者 小野薬品、国立がん研究センター
産業財産権の種類、番号 特許、PCT/JP2019/021633	出願年 2019年	国内・外国の別 外国

産業財産権の名称 がん細胞を特異的に攻撃している T細胞を同定するための特異的マーカー	発明者 西川 博嘉	権利者 国立がん研究センター、KOT AIバイオテック
産業財産権の種類、番号 特許、PCT/JP2020/026897	出願年 2019年	国内・外国の別 外国

産業財産権の名称 免疫チェックポイント阻害薬の有効性判定バイオマーカー	発明者 西川 博嘉	権利者 小野薬品、国立がん研究センター
産業財産権の種類、番号 特許、PCT/JP2020/029882	出願年 2020年	国内・外国の別 外国

産業財産権の名称 溶血性レンサ球菌の菌体を含む製剤との併用療法	発明者 西川 博嘉	権利者 小野薬品、国立がん研究センター
産業財産権の種類、番号 特許、2018124442(JP)	出願年 2018年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 エフェクター型制御性T細胞の検出方法、エフェクター型制御性T細胞の分析装置、エフェクター型制御性T細胞の分析システム、および、プログラム	発明者 西川 博嘉	権利者 国立がん研究センター、シスメックス
産業財産権の種類、番号 特許、PCT/JP2018/015094	出願年 2018年	国内・外国の別 外国

〔取得〕 計0件

〔その他〕

<p>名古屋大学大学院医学研究科 微生物・免疫学講座 分子細胞免疫学 ホームページ https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/laboratory/basic-med/micro-immunology/immunology/ 国立がん研究センター ホームページ https://www.ncc.go.jp/jp/ri/index.html</p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	土井 俊彦 (Doi Toshihiko) (20522907)	国立研究開発法人国立がん研究センター・東病院・科長 (82606)	
研究分担者	河野 隆志 (Kohno Takashi) (80280783)	国立研究開発法人国立がん研究センター・研究所・分野長 (82606)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------